

ライオンズクラブ国際協会
愛と知性でまごころ奉仕



333-C地区 地区ニュース

1994年6月25日発行 (1993-1994)

WE SERVE

ふんしあい



ライオンズクラブ国際協会 333-C地区
第40回 年次大会



今年度アワード・ヒューマン・ローカン 一九九三-一九九四
愛と知性でまごころ奉仕



No.6

特集：333-C地区 第40回 地区年次大会



333-C 地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、
その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、
ライオンズム永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、
ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげもう。

ライオンズクラブの目的

- 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

[ふれあい]

No. 6

目次

感謝とお別れの言葉 地区ガバナー L松丸善次郎	2
任期終了の御礼と回顧 C A B 幹事 L川崎忠男	3
前夜祭 スナッフ	4
年次大会分科会 スナッフ	5
次期ガバナー及び副地区ガバナーの経歴 年次大会スナッフ	7
第40回年次大会決議録	10
分科会報告 初めてPR委員に就任される各委員への御参考に L大須賀稔 長期計画指導力育成分科会報告 L後藤隆一	12
分科会(G)の研究討論報告 7R・PR情報委員 L平賀昇 葉害教育ACTについて L畝本昌介 盲導犬導入を顧みて L仲啓一 今後の献血活動のあり方について L小石 税 千葉で誕生した眼の難病支援組織にご声援を L椎名益男	13
次期C A B 役員に要請 地区環境保全ACT委員長 L伊藤恭一 L C I F・視力ファースト分科会会議録 分科会委員長 L鈴木俊一	14
任期を終えるにあたり 役職・役員について 1R・RC・L保科 保 Y Eプログラムの趨勢と対策 地区Y E特別委員 L青木 孝	15
C S Fに10,000ドル・ドネーション L永見八紘	16

地区長期計画指導力育成委員会の一年間を振り返って 委員長 L和田康男・副委員長 L寺嶋佳一	17
多古L C・C N 25周年記念式典	18
銚子L C 30周年記念式典	19
茂原L C・C N 30周年記念式典	20
習志野中央L C 10周年記念式典	21
千葉京葉L C 結成25周年 千葉京葉L S C 結成15周年記念特別例会	22
L C 活動レポート 市川東L C・下総中山L C 浦安シーサイドL C・松戸L C 松戸中央L C・松戸南L C 柏中央L C・柏グリーンL C・柏オークL C 船橋中央L C・船橋ポートL C 市原L C・6 R・1 Z 館山L C・館山中央L C・房総勝浦L C 白子L C・長南L C・長柄L C 東金L C・成田L C 佐倉L C・8 R・1 Z・2 Z 合同	23 24 25 26 27 28 29 30 31 32
333複合地区年次大会議長報告	33
M J F 名簿	35
ライオンズクラブの現況	42
地区A C T 集計表	43
333-C地区リジョン分布図	46
編集後記 地区PR情報委員長 L篠原一彦 地区PR情報副委員長 L大須賀稔	

題字・日展会員 鈴木アイ子

感謝とお別れの言葉



333-C地区ガバナー

L松丸善次郎

悠久五千年、歴史とロマンを織りなして流れる長江の辺り、古き都長安（現西安）を尋ねてまいりました。私の職務も一瞬の光に似て、今、消えようとしています。この「ふれあい」6号が最終号となりました。メンバー皆様に助けられ、また親しまれ乍ら、漸くにして旭市に到着することが出来ました。皆様のご協力、ご支援に厚くお礼申し上げます。また数多くの企業の皆様に広告等多大なるご協力を頂きました。感謝の念ひと入でございます。

地区内各クラブから提供されました活動資料等につきましては、出来得る限り掲載させて頂きました。

キャビネット内局員皆様の寸暇を惜しんでのご協力、ご援助を頂きましたこと重ねてお礼申し上げます。更に印刷に原稿の遅れを取り返して頂き大へんのご尽力を頂き、関係された皆様方に重ねて深甚なる感謝の意を表します。有難うございました。

「ふれあい」もメンバーお一人おひとり読んで頂けたでしょうか。編集に携った篠原委員長も大いに燃えて、持てる情熱を傾け、あーもしたい、こうもしたいとより良き紙面の充実に頑張ってお下り、経費の都合で意にそぐわないこともしばしばでした。いずれに致しましても編集委員のご苦勞は察して餘りあるものがありました。感謝の念でいっぱいでございます。

本6号が皆様のお手許に届く頃は、梅雨も明けて、入道雲が青空に浮かび、暑い日盛りに汗を流していることでしょう。

最後になりましたが、皆様方の益々ご健勝でライオニズムの高揚に更なる精進を賜りますよう祈念申し上げ、名残り惜しいものがありますが何時までもお元気で。

さようなら。

任期終了の御礼と回顧



333-C地区 CAB幹事

L川崎忠男

松丸ガバナーに国際会長賞が届きました。加うるに、来る7月13日から始まるフェニックス国際大会2日目(7月14日)全世界のCSF模範地区として、333-C地区は表彰され、松丸ガバナーは地区を代表して受賞致します。(1人当たり拠出金世界第13位)壇上で受ける大へんBigな賞です。地区内メンバー各位の御精進と御協力の賜です。厚く深く御礼を申し上げます。

さて、回顧でございますが、1年で交替する単位クラブの役員の方々とCAB構成員の方々に1年間のCAB当番として、どれだけサポート出来たろうか?事業を抱えての幹事職、どちらも忙がしいものがあります。おびただしい量のライオンズ情報について、適切に処理出来ただろうか?十分に時間のかける事のない丁寧さに

欠けたものではなかったか?人間関係を損わずに出来たか?反省しきりでございます。

任期中、いくつかの事を心に決め、金科玉条として来たものがあります。

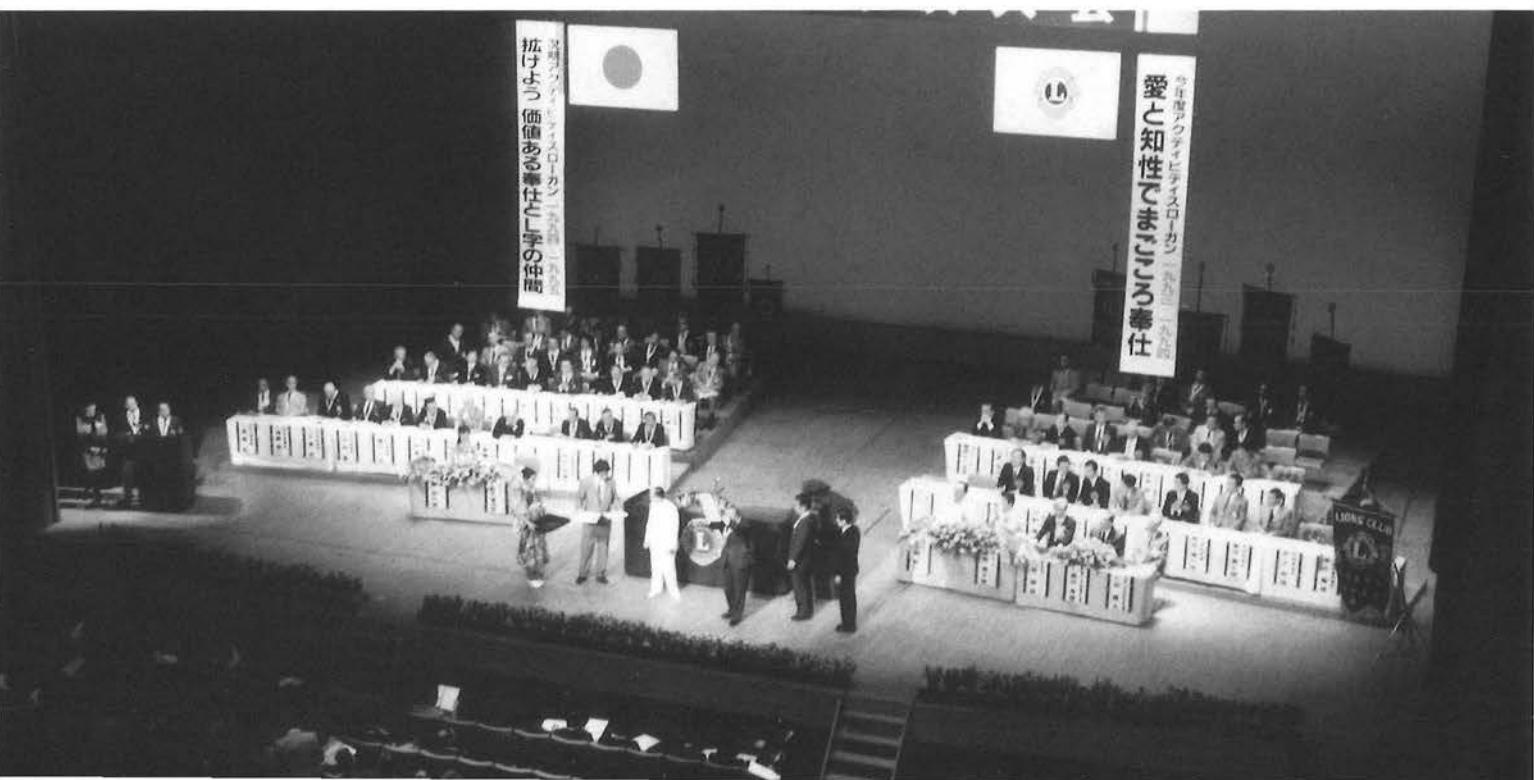
○耐える事(自己採点 平均の上)

○幹事はいかなる質問があっても、わからないと云ってはいけない。(難しい事は即答を避け、よく調査し、何らかの結論を御答とした。自己採点 平均 これ以上は私の能力の限界、希むべきもない。)

良くも悪くも1年は早い。あたふた致しながら、御支援いただいた御交誼に、お礼を申し上げ、終り良ければすべて良し。期末の行事に萬遺憾なきを期したい。

第40回333-C地区年次大会開催

1994年5月1日(日) 市川市文化会館



前夜祭

和やかな雰囲気にもまれて友情を暖めあう



◀ガバナーL松丸善次郎
歓迎の挨拶



全員で乾杯 ▶
"ウイ・サブ"



◀アトラクション
松本英彦
世良 譲
ジミー竹内
遠山晃司

年次大会各分科会



◀会則・政策・会員・E X T・経理分科会



▶ P R 情報・大会参加分科会



◀長期計画・指導力育成分科会



▶ Y E ・国際協調交流分科会

活発なる質疑応答の各分科会



◀LCIF・視力ファースト分科会



環境保全・ACT分科会▶



◀レオ・フォーラム



ライオネス・フォーラム▶

一九九三—一九九四
ライオネスフォーラム

次期ガバナー及び副地区ガバナーの経歴



次期ガバナー

L 江畑耕作

所属クラブ 4 R・2 Z 旭ライオンズクラブ
 生年月日 1925年8月23日
 自宅住所 千葉県海上郡海上町蛇園2532
 自宅電話 0479-55-2110
 職業 社会福祉法人「愛仁会」理事長
 恵天堂医院院長
 勤務先住所 千葉県銚子市三軒町13
 勤務先電話 0479-22-1318
 学歴 千葉大学医学部卒業
 家族 妻 潤子 長女 房江 長男 稔樹

【ライオンズクラブ歴】

1966.2.12 旭LC入会 (チャーターメンバー)
 1967~1968 クラブ第2副会長
 1972~1973 クラブ第1副会長
 1973~1974 クラブ会長
 1983~1984 333-C地区4 R・2 Z (石橋GV) Z.C.
 1985~1986 333-C地区(橋口GV)国際協調・YE・L
 C I F委員長
 1986~1987 333-複合地区(平井GV)国際協調・YE・
 L C I F副委員長
 1987~1988 333-C地区4 R(手塚GV)D.D.G.
 1990~1991 クラブ結成25周年記念式典委員長

【ライオンズアワード】

1967.12 アドバンスメントキー賞受賞
 1985.12 メルビン・ジョーンズフェロー賞受賞
 1991.2 在籍25年モナーク受賞
 1991.12 メルビン・ジョーンズフェロー賞受賞(2回目)
 1992.11 メルビン・ジョーンズフェロー賞受賞(3回目)





次期副地区ガバナー

L 林 静誠

所属クラブ 2 R・1 Z 船橋中央ライオンズクラブ
 生年月日 1937年6月1日
 自宅住所 千葉県船橋市飯山満町2-761
 自宅電話 0474-66-2922
 職業 医療法人「同和会」理事長
 社会福祉法人「清和会」理事長
 勤務先住所 千葉県船橋市飯山満町2-508
 勤務先電話 0476-66-2176
 学歴 法政大学経済学部
 家族 妻 節子 母 ふさ 長男 清人 次男 武仁 (既婚)
 三男 秀樹 四男 茂樹

【ライオンズクラブ歴】

1968.1 船橋中央LC入会 (チャーターメンバー)
 1973~1974 クラブ第2副会長
 1975~1976 クラブ第1副会長
 1976~1977 クラブ会長
 1982~1983 333-C地区2R・1Z (藤田GV) Z.C.
 1984~1985 333-C地区2R (秋葉GV) D.D.G
 1989~1990 333-C地区 薬害教育・糖尿病委員長

【ライオンズアワード】

1975年 アドバンスメントキー賞受賞
 1975年 エクステンション賞受賞
 1977年 メンバーシップアワード賞受賞
 1978年 マスターキー賞受賞
 1990年 メルビン・ジョーンズフェロー賞受賞 (2回目)
 1990年 国際会長賞受賞

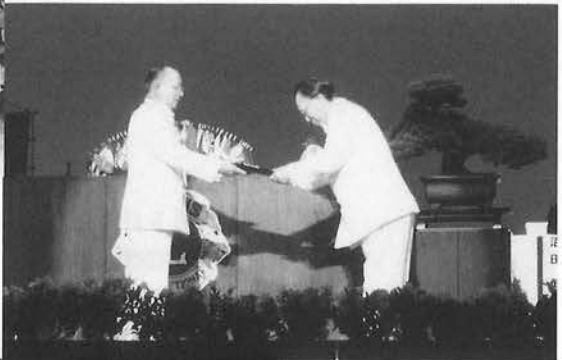


奉 回 04 奉



▲クラブ旗を先頭に次期三役堂々と入場

▼ガバナーキー継承



▲次期CAB三役 次期ガバナーL江畑耕作 (旭LC)・夫人潤子様
次期幹事L嶋田秀雄 (旭LC)



◀次期ACTスローガンを掲げて 挨拶する次期ガバナー

第40回年次大会決議録

1994年5月1日(日)、市川市文化会館において、ライオンズクラブ国際協会333-C地区第40回年次大会が開催され、提出議案の審議が行われた。代議員総会並びに大会において決議された事項は次の通りであります。

提出議案の資料並びに当日各分科会において行われた研究討論テーマは別紙「第40回年次大会議案書」をご参照下さい。

1994年5月9日

ライオンズクラブ国際協会333-C地区
第40回年次大会

議長 (地区ガバナー) L 松丸 善次郎

第40回地区年次大会提出議案

〔I〕大会提出議案

第1号議案 前年度会計報告 (1992. 7. 1～1993. 6. 30) 承認の件 (地区ガバナー提案)

- (1)一般会計 (2)年次大会会計 (3)青少年育成資金会計 (4)災害緊急援助資金会計
(5)YE緊急援助資金会計 (6)地区ACT資金会計
(7)その他特別会計 (資料32ページ参照)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

第2号議案 本年度中間会計報告 (1993. 7. 1～1993. 12. 31) 承認の件

- (1)一般会計 (2)年次大会会計 (3)青少年育成資金会計 (4)災害緊急援助資金会計
(5)YE緊急援助資金会計 (6)地区ACT資金会計
(7)その他特別会計 (資料40ページ参照)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

〔II〕指名選挙・国際理事立候補者推薦委員会提出議案

第1号議案 次期地区ガバナー選出の件 (地区ガバナー提出議案)

次期地区ガバナー候補者は、現副地区ガバナー L. 江畑耕作 (旭LC) 1名である。(資料12ページ参照)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

第2号議案 次期副地区ガバナー選出の件 (地区ガバ

ナー提出議案)

次期副地区ガバナー候補者は、L. 林 静誠 1名である。(資料13ページ参照)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

第3号議案 国際理事立候補者推薦の件 (地区ガバナー提出議案)

333複合地区ガバナー協議会の決議を尊重し、1994～'96年度国際理事として、L. 松原文彌 (331-A地区、札幌クラークLC所属)を推薦する。(資料14ページ参照)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

〔III〕決議委員会提出議案

(1) 会則・政策・会員・EXT・経理分科会

第1号議案 複合地区会則改訂の件 (ガバナー協議会議長提案)

複合地区会則を別記のとおり改める。(資料15ページ～17ページ参照)

(1) 「副ガバナー」という語句を、すべて「副地区ガバナー」と改めたい。

(2) キャビネット構成員について、現在地区LCIF委員長には自動的に前地区ガバナーが就任することになっているが、自動的に就任以前の規定に戻す。

(3) 国際協会駐在員の廃止について

(4) ライオン誌の日本語版の特別負担金について

(5) 複合地区会費を会員1名につき1ヶ月当り現行120円を140円に改訂する。(333複合地区)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

第2号議案 次期アクティビティ・スローガンを「拡げよう 価値ある奉仕とL字の仲間」と致したい。(旭LC提案)

〔決議〕 提出原案通り承認可決

第3号議案 ゾーン再編の件 (2R・RC, L, 蒔田辰男)

現在の2Rを次のとおり再編する。1994年7月1日より発足。

- 2 R 1 Z 船橋LC、船橋中央LC、鎌ヶ谷LC、沼南LC、船橋ポートLC
- 2 R 2 Z 船橋東LC、船橋京葉LC、船橋北LC、白井LC
- 2 R 3 Z 習志野LC、八千代LC、習志野中央LC、八千代東LC

〔決議〕 提出原案通り承認可決

- 第4号議案 リジョン分割の件（地区ガバナー提案）
（LC省略）
地区内リジョン編成について下記のとおり決したい。
- 1 R 1 Z 市川、市川東、下総中山、市川北
 - 2 Z 浦安、行徳、浦安シーサイド、浦安中央
 - 2 R 1 Z 松戸、松戸中央、松戸ユウカリ、松戸南
 - 2 Z 流山、松戸東、野田、関宿
 - 3 R 1 Z 柏、我孫子、印西、柏さくら
 - 2 Z 柏中央、柏グリーン、柏オーク、柏なの花
 - 4 R 1 Z 船橋、船橋中央、鎌ヶ谷、沼南、船橋ポート
 - 2 Z 船橋東、船橋京葉、船橋北、白井
 - 3 Z 習志野、八千代、習志野中央、八千代東
 - 5 R 1 Z 千葉、千葉中央、千葉若潮、千葉ポート、千葉幕張メッセ、千葉グリーン
 - 2 Z 市原、千葉エコー、市原南、千葉京葉
 - 6 R 1 Z 成田、酒々井、成田グリーン、成田平成、富里、下総
 - 2 Z 佐倉、四街道、八街、八街グリーン
 - 7 R 1 Z 銚子、佐原、東庄、神崎、銚子中央
 - 2 Z 八日市場、総武中央、多古、大栄、栗源、光
 - 3 Z 旭、飯岡、千潟、山田町
 - 8 R 1 Z 木更津、木更津中央、袖ヶ浦、木更津金鈴
 - 2 Z 富津、上総、君津、君津中央
 - 9 R 1 Z 館山、鋸南、館山中央、館山北、館山南

- 2 Z 鴨川、房州白浜、房州朝夷、房総勝浦、夷隅
- 10 R 1 Z 茂原、上総一宮、茂原長生、白子、長南、長柄、茂原中央、茂原たちばな
- 2 Z 東金、大網白里、九十九里、成東

1994年7月1日より発足。

〔決議〕 提出原案通り承認可決

- 第5号議案 年次大会繰越金8,362,160円の内
4,000,000円を「333-C地区アクティビティ資金」に繰入れすることに決したい。

〔決議〕 提出原案通り承認可決

- 第6号議案 第30回全国身体障害者スポーツ大会「ゆめびっくあいち」支援の件
（ガバナー協議会議長提案）
本年11月12・13日の両日、愛知県で開催される第30回全国身体障害者スポーツ大会「ゆめびっくあいち」を支援するため、会員1名当たり100円の協力金を拠出されたい。

〔決議〕 提出原案通り承認可決

- 第7号議案 第3回全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック群馬大会」支援の件
（ガバナー協議会議長提案）
本年10月15・16日の両日、群馬県で開催される第3回全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック群馬大会」を支援するため、会員1名当たり、100円の協力金を拠出されたい。

〔決議〕 提出原案通り承認可決

- 第8号議案 「第12回アジア競技大会広島1994」支援の件（ガバナー協議会議長提案）
本年10月2～16日の15日間、広島県で開催される第12回アジア競技大会を支援する為、会員1名当たり200円の協力金を拠出されたい。

〔決議〕 提出原案通り承認可決

- (2) 献眼・献血・献腎・薬物乱用防止・糖尿病教育・視聴力保護・言語障害・盲人福祉分科会
第1号議案 献血推進研究会開催の件
献血推進研究会を今後毎年開催し、献血ACT推進に協力せられたい。

〔決議〕 提出原案通り承認可決

分科会報告

初めてPR委員に就任される各委員への御参考に

(リジョンPR委員の反省と今後の構想から)

地区PR情報副委員長 L大須賀 稔
(浦安シーサイドLC)

地区ニュースは、単に地区LCメンバーに地区内の情報を提供するのみではなく、複合地区また他の複合地区へも333-Cの情勢を識らしめる唯一の刊行誌です。また近年では県内の一般の方々へも、県庁を始めとする各公共機関に於ける待時間に、本誌を読んで戴き、ライオンズクラブの活動(ACT)をPRしております。次期、初めてPRに携わるライオン各位は、このように重要な役目を担当する任期を、自覚と見識と責任を持って十分に才能を発揮されるよう頑張ってください。

I リジョンPR委員の方々へ

(A)リジョンチェアマン(RC)と各LCを公式訪問に同行の時RCに随行するだけでなく、「R、PR広報担当者」として、必ず数分の時間を確保して、ご自身のPR方針を披れきするようにして下さい。会長、幹事、LC・PR委員と緊密なる連携を保ち、各LCのACT予定案、方針等を記録し、後程その成果の提出を要請することが必要であろうと思います。

(B)R内のLC・PR委員との連携を常に保つ為、年に数回の連絡会議を持つようにすべきではないでしょうか。
(中だるみにならないように)

(C)地区PR情報委員長との連絡を密にし、御自分の集計・補足・送付に要する時間をも考慮し、原稿締切日をLC・PR委員に周知すべきであります。

※発刊予定が遅れる事のないように、可能な限りの努力を要請すべきです。

II LC・PR委員の方々へ

(A)年間計画により行われるクラブのACTを取材し、状況の説明には、メンバーによりユニークに楽しく読んで貰えるよう工夫する事が必要ではないでしょうか。

(B)今年度に寄稿された写真の中に、知らしめるポイントが何なのか不明であったり、ピンボケであったり(掲載できる写真は原則的には一枚程度なので)編集会議の

際、どう載せようかと考えさせられる事が多々ありました。到着時間に余裕があれば、他の写真と取り替える事も出来ると思いますので、気が付かれたら早めに、R・PR委員に連絡されたらよいでしょう。写真は白黒が鮮明に印刷出来ますが、カラーでも大丈夫ですので、主張したいところにポイントを置いて下さい。

(C)R・PR委員と連絡を密にして、R委員の締切りリミットに合わせ、クラブACTをタイムリーに報道すべきであります。

(D)労力ACTは一般の方々にも参加を呼びかけ、出来ればZ単位の協同ACTを企画し、更にマスコミを動員できる事がPRとして最高ではないでしょうか。

※(充分ご存知の事項でしょうが、一部でも参考になって戴きましたら幸いです。)

長期計画指導力育成分科会報告

記録担当 L後藤隆一

和田委員長 会員増強に関してのアンケート調査を実施した。また、R毎の役員スクールを提案し次期に申し送るので継続的開催を希望する。

保科委員長 クラブ、CABの役員選出に関しても単発人事ではなく長期的展望が必要。

代議員諸氏よりの発言要旨

- 1 本委員会の年度を跨いだ継続性がない。分科会役員も本日まで当該事項を担当していない方が多い。単発的に過ぎる。
- 2 LCの活性化は先ずCABのマンネリ化脱出より始めるべきではないか。
- 3 運営費の肥大を防ぐために。各種行事の簡略化、ブラザーLCとの付き合いの縮小、むやみな全員登録呼びかけの自粛、合同事務局の設置、等に本気で取り組むべき時期に来ている。

分科会(G)の研究討論報告

記録担当 7R・PR情報委員 L平賀 昇

薬害教育ACTについて

L畝本昌介（市川LC）
地区薬物乱用防止・糖尿病教育委員長

青少年の薬物乱用防止を強く呼びかける。啓蒙グッズとして中学・高校・大学生の作品があれば効果的。立看板、横幕、リーフレット等。責任者として薬害教育委員長を任命することが重要である。L畝本の強い要望として、各クラブに青少年指導委員会を設置することを訴えていた。次世代を担う青少年健全育成として我々の責任を痛感し、薬物乱用を絶対防止せねばならない。自分の肉体を亡し、犯罪のもととなるこの隠れた行為は、表面ではわからなく、乱用防止の呼びかけも、手応えがわからないが、やれば効果のある事を信じて、どうしても強い働きかけが必要と思う。

盲導犬導入を願みて

L仲 啓一（野田LC）

盲導犬の導入について、薬物乱用防止・視聴力保護委員会の中本委員長がこれを計画、チャリティコンサートを開いて、事業の益金をCSF基金として百万円を寄附、その他吉幾三ショー等も行い、行政、市民、LCが一体となり、欧米に比べると非常に少ない日本の盲導犬を全盲の人に与える為に、多くの同志、各LCに訴えて導入基金をつくりたい。

更に盲導犬の安全性をPRして、全盲者がどんなところでも出入り出来るようにしたい。

説明を聞いている会員もあまり反応が見られず、それは日常係わりが殆んどなく、これからの強いPRが必要と思われる。

今後の献血活動のあり方について

L小石 税（船橋ポートLC）

船橋ポートLCも献血活動には大変力を入れてまいり年間12回行っており、実績は333-C地区内でも3位以内であった。船橋赤十字血液センターから駅頭での活動は効果的ではないので、本年は取り止めると一方的に打ち切られる。日本一の非献血県である千葉県はこれから県民への呼びかけとして誕生日とか結婚記念日には献血して頂くよう呼びかける方法を考えたい。今後各クラブの論議の一石となればと考え提案した。この事は当クラブと同じ悩みがどこで

もあると考えられ、地区内各クラブの色々な献血の方法を参考にする為の情報交換等も考えられるのではないかと。

千葉で誕生した眼の難病支援組織にご支援を

L椎名益男（千葉LC）

千葉LCでは30周年記念事業として、千葉大医学部に基金を贈呈して、日本網膜色素変性症協会設立を支援した。眼の難病であるこの治療法の研究の呼びかけ、この相談に乗ることによって生きる希望を与えることを目的とする。今後の活動には何よりも資金確保が必要であり千葉でスタートした活動に支援を頂きたい。この難病は我々もあまり知らなく、L椎名より初めて知ったものであり、各会員も真剣に説明を聞いており、納得出来たようである。千葉で始めた此の輪を日本全国に広め、JRPS支援会員を一人でも多く理解を頂き会員増強に努めたい。

次期キャビネット役員に要請

地区環境保全ACT委員長
L伊藤恭一

ここ10数年行ってきた国際的なCSF基金の協力も、一応のピリオドをうった最後の年と聞いております。そこで、今最も必要で緊急を要する地区環境保全の問題に関して、数年前寺嶋ガバナーそして長島ガバナーが提唱、次の吉田ガバナーの時、333-C地区ACT資金を設けて3年目、現在は1,605万円とうかがっております。今の時代、何を行うにも億単位で資金がいります。日本では、環境基本法ができ、千葉県でも環境憲章を定めるなど、次の時代に向けて着々と諸方策が進められています。

ライオンズクラブとしても、今迄先輩ライオンが作り上げたACT資金へのご協力を、全クラブに呼びかけ、輪を更に広げて、333-C地区内の大事業確立のために次期キャビネット役員と333-C地区内各クラブが真剣にとりくむ必要があると思います。

ライオンズクラブの役員交替は1年であり、方針もその年度で終わってしまうのが常であります。国際会長・地区ガバナーの方針も1年限りであります。しかし当委員会の環境保全は、継続性があり、しかも長期間必要でありますし、地味な活動を何年か続けて、初めて実をつけ花を咲かせます。きわめて難しい問題かと思いますが、333-C地区の為に奮闘をお願いします。

ライオンズクラブメンバーが、環境問題にもっと関心を示し、各地域の環境について積極的に意見交換し、また取り組み、一般市民へのPR、行政への働きかけ、また合同ACTの計画の推進、環境教育の啓蒙と環境意識の高揚などにご尽力をお願い申し上げます。

LCIF・視力ファースト分科会会議録

分科会委員長 L鈴木 俊一
司会進行 L御子神 裕
記録係 L久保田精一

委員長 L鈴木俊一 あいさつ

顧問 L矢田常吉 あいさつ

LCIFの組織、CSFを独立して
行った理解とPR

議長選出 L鈴木委員長を決定

顧問 L矢田常吉 LCIF・CSFの3年間の活動
とその成果について詳細説明

議長 L鈴木俊一 質問、意見を参加者より求む

総武中央ライオンズクラブ

LCIFの送金が順番に受けつけられていない。

茂原長生ライオンズクラブ

第一回目の送金は受け付けられたようであるが、
第二回目の送金は連絡がない。

千葉若潮ライオンズクラブ

送金しても受入れ態勢ができていない、送金
しても心配である。

上総一宮ライオンズクラブ

二名送金したが、一名については連絡がない。

船橋中央ライオンズクラブ

三ヶ年実施したCSFの成果は大きい、目の
見えない人は日本にもいる。財団より援助の請
求をしているか。角膜の移植を三年も待ってい
る人がいる。

()ライオンズクラブ

LCIF毎年の積み重ねは大きいものがある。
333-C地区単独で実施するような方法は考え
られないか。

以上の質問に対して矢田顧問より一応の解答をしている
が、これだけでおわらず続けて対応するよう呼びかける。

なお、CSF資金の管理運営について報告する機関を作
ってほしいとの意見がありました。

上記のとおり報告致します。

任期を終えるにあたり

役職、役員について



1 R RC
L保科 保
(松戸東LC)

1年毎の役員改選の時期が来た。各クラブでも新三役や各委員会が構成され、新年度に向けスタートを切った事と思う。

1年交替のシステムに就いての意見ではなく、新役員としてその任を負う方々に申し上げたい。

先ず会長は、そのクラブの代表者であり、クラブの顔として種々の会合や行事に参加します。それ故に本人の経験や見識が周囲から注目される。普通の場合は既に色々な役職を経て会長に就任した筈だから、その言動は常にクラブや地域のリーダーとして中味のあるものであって欲しい。又そうなる為に会長ホームや諮問委員会等で大いに学んで頂きたい。

Z・Cは自分のエリア内のクラブの歴史や性格を良く把握し、Z・C必携を暗記する程熟読し各クラブの指導、育成に当たりたいものです。ライオン歴や経験が御自分より長く、そして多いライオンマンが多勢居るが、それはZ・Cとして遠慮する原因ではなく、むしろ職務上云わねばならない事や、果さねばならない点を各クラブに理解して貰う事が大切な事と思う。そしてR・Cを助け、時のガバナーの方針を十分に理解し、その実現に向けて努力して欲しい。

R・Cは多くはZ・Cを経験した人達と思う。自分がZ・Cの時の事を参考に、新Z・Cの良き相談相手となると同時にガバナーやCABの計画や方針を忠実に実行しなければならない。その為にはCAB会議には万難を排して出席し、R内の現状を報告したり、他のRの情報を得て、これからの行動を決めてRの発展（一単位クラブの活性化）に一層努力すべきである。

YEプログラムの趨勢と対策



地区YE特別委員
L青木 孝
(松戸東LC)

昨年度からMD333のYE通信窓口が4から20余に増加し、本年度からそのYE事務局が千葉市のC地区キャビネット事務局に同居している。MD333はMD335、334に次いでYE活動が活発である。その中でC地区がA、B地区をYEに関してリードしている事実は否めない。C地区としてYEプログラムの今後の傾向を明らかにし、その対策を討論によって求めたい。

1. 交換先国の変化に応ずる体制について

YE生の希望派遣国は、カナダ、オセアニア、アメリカが圧倒的に多い。しかし先方の受入予定人員は、カナダが急激に減少し、アメリカ、オセアニアが漸減の傾向にある。これに反しアジア諸国は極端に増加し、東欧及び中南米諸国が加わったが、そこへの派遣希望者は極めて少ない。YEの目的を考えると、欧米指向からグローバル、特に東南アジア派遣増加の対策を講ずる必要はないか。

2. LCの事業としてのYEの価値について

英国はLCメンバーの子女については受入をしない。YEはノンLの子女を派遣することにYE事業として価値がある。従来は、メンバー優先、問題処理は容易、クラブ経費は少なくすむ等で、メンバーの子女派遣が多かった。今後はノンライオンの子女を中心とし、クラブの活動を一般市民にアピールする必要はないか。

3. スペシャル・リクエスト交換の増加について

スペシャル・リクエスト（SR）とは、YE生のクラブ対クラブの交換を、複合地区の窓口を通じて実施する方法である。この方法は、派遣先の事情と早期に承知でき、受入人員の少ない国に確実に派遣できる利点がある。姉妹提携クラブ等を利用し、SR交換を増加する必要はないか。

以上3つのテーマに見られるように、YE活動は青少年相手の国際間の大事なしかも価値ある事業である。各クラブ及び地区のYE委員は、その重要性を充分理解し、活動してほしい。

C S F に10,000ドル ドネーション

L 永見八紘

(鎌ヶ谷LC)



私が1万ドル献金を思い立ったのは19才で亡くなった長男の死でした。昨年5月25日長男和啓（かずひろ）は、待ちに待った新車が納入され、午前中家の周りを2、3周したり、車庫入れを練習したり、喜びが一杯でした。昼食をとり、独り「取扱説明書を取りに行く」と言って車庫へ下りていったそうです。高校の中間試験で早めに帰宅していた次男が、斜前にある床屋さんへ行こうとして玄関に出たところ、「車庫へ行って来る」と言っていたのに、シャッターが締めエンジン音だけしているので、不審に思い横の開き戸を開けて、車の中でグッタリしている兄を発見し、妻に知らせ、救急車で松戸市立病院に担ぎ込まれました。しかし既に排気ガス中毒による脳死の状態、翌26日午前11時過ぎに心臓が停止し、帰らぬ人となりました。義母も私も会社でしたので、次男からの電話で、妻と長男が病院へ行ったことは知りましたが、何処の病院とも分からず、焦る思いで妻からの電話を待ちました。暫くして「今、市立病院です」と電話が入り、慌てて病院へ駆けつけました。

脳のCTも現像が上がり、先生の説明が始まるところへ駆け込みました。先生の口から出た第一声は「諦めて下さい。若いから未だ心臓は動いていますが、時間の問題です。今夜が峠でしょう」と告げられました。……顔面蒼白、生まれて初めて経験するどうしようも無い虚脱感でした。「先生どうにかならないものでしょうか」と聞いても先生の答えは同じでした。通信病院の脳外科にも北里大学にもコネクションがあるので、助かるものなら何んともして遣りたい。そんな思いから、まず鎌ヶ谷ライオンズクラブのメンバーのお医者さんに息子の容態を説明して、打つ手があるか電話してみました。しかし仲間のその先生も「早く気が付けば多少望みはあるが、

意識が戻らない場合難しい」と教えて下さいました。その段階で私も長男との訣別を覚悟せざるをえませんでした。

子供は3人居りましたが、長男はよく会社の仕事も手伝ってくれました。また将来仕事を引き継ごうかなとも話していましたので、義母、妻、私とも楽しみにして居りました。一晩ベッドの傍で付添いながら奇跡が起こる事を念じ続けました。長男の顔は穏やかで、今にも目を開け話しかけてくるのでは、と思われるぐらいでした。でもこの子はもう戻って来ないのだと思うと、いても立ってもおれませんでした。せめてこの子の眼が、心臓が、何処かで生き続けてくれたら……と家族に献眼等の話を出しましたところ義母が第一に反対しました。可愛がってくれていた義母の気持ちも手に取るように分かりました。それ以上はこの話は止めました。他人に迷惑を掛けず、将来は少しでも社会で役立つ人間になって欲しい、と言いつけて居ただけに19才の死は、余りにも呆気なく残念でした。このままだと息子の死は犬死だと思い、この世に生を受けたことが誰かの役に立てたらと、寄付を思い付きました。ライオンズクラブのCSFがピッタリだと思い、家族にその話をしましたところ誰も反対する者はいませんでした。

間もなく一周忌が来ます。未だに私達家族の顔の中に和啓は生き続けて居ります。今年の成人式には何人かの友達が線香を上げに来てくれたり、浪人中の友達が受験で近くまで来たからと、線香を上げに立ち寄ってくれたり友達付き合いの良かった息子の笑顔が忘れられない毎日です。

平成6年5月9日

地区長期計画指導力育成委員会の一年間を振り返って



地区長期計画指導力育成委員長

L 和田康男

(松戸中央LC)



地区長期計画指導力育成副委員長

L 寺嶋佳一

(柏オークLC)

〔経過〕

- 1) 地区長期計画指導力育成委員会では「温故知新」古きをたずね、新しきを知るの諺から、地区にとっての「懸案事項」を、ガバナー経験者、長期計画委員長経験者等諸先輩ライオンにアンケートをもってお伺いした結果、多数のご意見を頂くことができた。
- 2) その中で国際本部も頭を痛めておられる「会員増強」という問題を取り上げたらどうかという意見が多くあった。
- 3) そこで私達は、会員増強は「退会者をいかになくすか」いわゆる「退会防止」にテーマをしばり調査することにした。
- 4) まず地区内102クラブの現況を把握するためと、併せて各クラブの考え方、或いは問題点を知る必要があると考え、アンケート調査を行ったところ、102クラブ中89クラブより返事を頂くことが出来た。
- 5) アンケート調査集計表を作成し、キャビネット会議で成果の報告を行った。

又、ZCを通じて地区内全クラブに届けて頂き、

年次大会分科会では本書をテキストに使用し、多くのご意見を頂くことが出来、実りある分科会を開催することが出来ました。

- 6) かねてより国際本部から要請のあった「役員スクール」をアンケート集計表をもとに、R毎にRCを中心とし、各クラブの幹部候補に集まって頂いて、開催して欲しいとの依頼をしたが、年次大会の準備等で時間がとれず100%開催出来なかった。
- 7) 年次大会の折、L江畑次期ガバナー、長期計画のL古谷次期委員長に経過を説明し、今期の計画を継続し、実行に移して欲しいとの要請を行った。
- 8) 収集した諸資料をもとに、地区よりクラブ宛に提供する「役に立つ資料」をも作成して頂く予定であり、引き継ぎの資料の整理を行っているところです。
- 9) 上記経過の概略と「アンケート調査集計表」を地区ニュース最終号に掲載していただくよう依頼した。又、地区委員会活動の成果を、松丸ガバナーの事業として国際本部へ報告の予定です。

アンケート調査結果集計表

アンケート依頼総数 102クラブ

〃 回答数 89クラブ

〃 回答率 87%

リジョン別集計 (回答率は四捨五入)

R	クラブ数	回答数	回答率%	R	クラブ数	回答数	回答率%
1	24	23	96	5	8	7	88
2	13	12	92	6	10	9	90
3	10	7	70	7	12	8	67
4	15	15	100	8	10	8	80
計					102	89	87

多古LC・CN25周年記念式典挙行

幹事
L平山一男



1994年3月20日、多古ライオンズクラブ25周年記念式典を、成田市ホテル日航成田に於て挙行。

当日は、一般ご来賓、松丸ガバナーはじめライオンズ関係ご来賓ブラザークラブのL・LS、350名のご臨席ご参加を戴き、盛大かつ厳粛に式典が行なわれました。

多古LCは、1968年7月八日市場LCのスポンサーにより結成以来、本日25周年を迎えました。この間、親クラブのご指導とブラザークラブの友情に支えられ、歴代会長はじめメンバー各位の一致協力のもと地域社会に数々の奉仕活動を続け、優秀クラブ金賞をはじめ、いままでに42のAwardを獲得してきました。

この25周年記念においても次の記念事業を行ないました。

- ◎ 国道296号ライオンズ花壇完成
- ◎ 多古町立多古中学校に生徒安全のため交通安全旗贈る
- ◎ 多古LC25周年記念近隣中学校駅伝大会開催
- ◎ 多古LC25周年記念近隣中学校駅伝大会へ優勝旗贈呈
- ◎ 多古町交通安全協会へ機材購入資金贈呈
- ◎ 多古町コミュニティプラザに「額」贈呈
- ◎ 多古LC全員献腎登録

25周年記念式典を節目として、「愛と知性でまごころ奉仕」をモットーに地域社会のために奉仕活動を続けていきたいとおもいます。

30周年記念式典について

銚子ライオンズクラブ

30周年式典委員長

L古田主計



去る4月3日、我が銚子ライオンズクラブの式典には親クラブの船橋LCを始めR内各クラブ、姉妹提携クラブである桐生中央LC、台北龍山国際獅子会鳳徳国際獅子会の皆様方の物心両面に亘る温かい御協力により、盛会裡に終了する事が出来ました事は何よりでありました。茲に改めて御礼を申しあげる次第です。自然人であれ企業体であれ何れも30年と言えば一応の節目であるので、式典は実施すべきであると思いますが、唯問題はその規模方法等種々ある筈、今後のあり方としては各クラブ独自の方法で、予算を計上し華美を避け而も厳粛に実施すべきであると思う。参考迄に式典委員長に推薦されてか

らの心構え等を記載してみたいと思います。

- ①特別委員会の結成（理事を中心に24人）
- ②組織表の作成（全メンバー）
- ③準備表の作成（各部各委員会毎の月別実施項目等）
- ④会員増強10人を目標（達成した）
- ⑤経費の節減と時間の有効活用（理事会終了後特別委員会開催計21回）
- ⑥みんなの意見でみんなの式典を開催したい

顧みるに予算の編成と実算の間には一苦勞しましたが全メンバーの協力により無事乗り切る事が出来ました。ホットしたのが実感。

茂原LC・C N 30周年記念式典

7R・PR情報委員
L平賀 昇



去る4月3日(日)桜花も例年より10日ぐらい開花がおくれてやっと咲き綻びはじめたこの好節にすばらしい好天に恵まれて7リジョン茂原LCの30周年チャーターナイトがプラザヘイアン茂原に於て開催された。茂原市石井市長さんをはじめ石橋一弥衆議院議員さん県議員さん他多数の来賓の方々とブラザークラブ総数300余名の参加者の祝福を受けて広い会場は飾られた花と共に和やかに包まれた。30年の長い足跡を残しその間笑いもあり涙もあり当クラブ会員の受賞者一人一人の顔にきざんできた苦勞が偲ばれ唯御苦勞様でしたの一語に尽る。

30周年記念アクティビティとして茂原市立美術館前

に彫刻家名嘉地千鶴子作のブロンズ像。市立図書館に金一封、茂原警察署へ図書費として金一封、茂原ボーイスカウトへ助成金金一封、ベンチ5脚設置とパーゴラ等の塗装を行うの5件を寄贈しそれぞれの方々へ目録が手渡された。今日までにすばらしい発展を続けてきた茂原市でありこれからも長生方面であらゆる面の中核都市として歩み続けていただきたい事を祈念しその中の茂原LCの存在は言わずと知れた責任は大なるものがあると思う。

終りに茂原LCの充実した発展を念願申し上げ30周年チャーターナイトの紹介と致します。

習志野中央LC10周年記念式典

2R・RC

L 蒔田辰男

(習志野LC)



去る4月24日、習志野中央LCのCN10周年記念式典が、ザ・クレストホテル津田沼で挙行されました。

当日は近隣4クラブ、習志野、八千代、八千代東LCとの合同例会という形をとり、而もホームクラブ所属のZC、L富原の公式訪問が併せて行なわれました。此の企画は近隣4クラブの友好的なムードと、公式訪問という厳粛なムードが旨く融け合って、素晴らしい式典になりました。台湾の姉妹クラブ豊原中央LCから26名、その他竹南LCからも6名の参加者があり、国際色豊かな華やかな式典が挙行されました。

記念事業として、青少年補導車(220万円)が市教育委員会へ寄贈され、その他点字パソコン1台、点字タイプライター4台、YE派遣生2名という立派な記念事業が披露されました。祝辞の中に、スポンサークラブ会長、

副地区ガバナーの他に、ホームクラブ所属の荒木習志野市長の祝辞が加わり、錦上花を添えました。

アトラクションはシャンソンの神尾ゆう子さんの他に地元の谷津雛子が加わって最高の盛り上がりを見せました。特に谷津雛子は、一名馬鹿面踊りとも云いますが、笛や太鼓のお囃子に乗って、大勢の可愛らしい子供達がお面を被ってユーモラスな踊りを披露し、会場を湧かせました。特に台湾の人達は此の踊りが気に入って、何時までも拍手が鳴り止まず、しまいには自分達もお面を被って踊り出すという盛り上がり方でした。

私事になりますが、私は創立の時ガイディングライオンとして、1年間クラブの人達と一緒に過ごした事もある、今や2R屈指の優秀クラブに成長された姿を目の当たりにして、感激の涙を禁じ得ませんでした。



千葉京葉 L C 結成25周年記念特別例会挙行 千葉京葉 LSC 結成15周年

千葉京葉 L C 会長
L 山崎敬逸



4月24日、千葉京葉 L C 結成25周年ならびに千葉京葉 L S C 結成15周年記念特別例会を、千葉市のホテルニューツカモトに於て挙行了いたしました。

当日は、千葉市長松井旭様ならびにご来賓の皆様、333-C地区ガバナー松丸善次郎 L、キャビネット役員各位およびブラザークラブのライオン、ライオネスの皆様方多数のお客様のご臨席を賜り、盛大かつ厳粛に式典が執り行われました。特に、松丸ガバナーはお祝辞の中でアクティビティについて両クラブが特に C S F に力を尽くしたことを賞賛され、又、千葉市長松井旭様、衆議院議員白井日出男様、千葉県議会議長酒井徹様よりそれぞれ過分のお祝辞を頂戴いたしました。

千葉京葉 L C は、1968年12月、千葉エコー L C をスポンサーとして誕生いたしました。

以来、4半世紀にわたり先輩ブラザークラブのご指導、ご支援により、ひたすら、ライオニズムの精神に則り社会奉仕に精進して参りました。

また、千葉京葉 L S C は、1979年、京葉 L C の結成10周年の記念事業の一つとして誕生し、ともに手を携えて社会奉仕への努力を重ねて今日に至った次第であります。

この25周年並びに15周年記念事業は下記の通りであります。

- | | |
|--|-------|
| 1. 視力ファーストへの協力 | 300万円 |
| 2. 日本赤十字千葉県支部へ
蘇生訓練用生体シュミレーション寄贈
(千葉市9クラブ合同アクトとして) | 60万円 |

- | | |
|------------------------------|------|
| 3. 千葉いのちの電話へ運営費として | 50万円 |
| 4. 千葉県アイバンク協会へ | 50万円 |
| 5. 千葉市精神薄弱者育成会へ | 50万円 |
| 6. 青少年健全育成資金として | 20万円 |
| (千葉市少年合気道連盟および千葉地区高等学校柔道大会へ) | |

合計 530万円

式典は予定通り1時間で終了、続いて第2部の祝宴に移行。冒頭、チャーターメンバーの表彰があり、ライオンズクラブ9名、ライオネスクラブ4名にそれぞれの会長より感謝状と記念品が贈られました。また、L S C 波木会長から L C 山崎会長へ60本の真紅の薔薇の花束の贈呈があり、親クラブへの感謝の意を表されました。

ホテルニューツカモトの心をこめたディナーの後のアトラクションは、千葉 L C のメンバーである名ピアニスト大原保人 L に演出を依頼、大原保人トリオ+1 (トランペット神村英男氏) の演奏により参加者をしばしジャズの世界にいざない、さらに、中国の美人声楽家白雪迎さんの中国の歌、夜来香、支那の夜など懐かしのメロディーの熱唱により、皆さんを青春時代にタイムスリップさせ、会場は、ますます楽しい雰囲気包まれ宴酣となりましたが、最後に全員で「また逢う日まで」の大合唱により記念すべき一日をしめくりました。

お客様のお見送りを済ませ、松丸ガバナーを囲んで全員記念撮影を行い、今日の佳き日の一つの節目としてライオニズムの誓いを新たにされた次第であります。

市川東LC

恒例の餅つき大会

社会福祉事業の一環として、クラブ結成以来続けられて来た「市川市立養護学校」での餅つきを12月10日に行いました。

毎年もち米100kgと燃え木を寄贈し、子供達に、餅つきの楽しさを味わってもらい「子供達の喜ぶ姿」に感動しました。



チャリティゴルフ大会

第13回市川東LC・チャリティゴルフ大会が、平成6年4月18日、皆吉台CCで開催されました。当クラブ最大のACT事業です。メンバー全員出席で、お客様をお迎えし、失礼のない様運営面その他で頑張りました。

参加者の中には、毎年この大会を楽しみにして下さる方が沢山いらっしゃるようです。

今後も継続ACTとしてゆきたいと思っております。

下総中山LC

姉妹クラブ30周年記念式典訪問

昨年12月、中華民国台湾省雲林県LCの30周年記念式典に当クラブより会長松丸征勝ライオンを団長に24名にて親善訪問した。

雲林県LCとは昭和51年に日華友好を目的として姉妹締結文書に調印、以来18年間にわたり毎年相互訪問を繰り返し、旅行・ゴルフ・懇親会などを通じて熱い友情に結ばれてきた。

最近では彼我ともにメンバーの世代が若返り言葉の障害が顕著になってきたが長年培ってきた友情により、これ乗り越えて今後も友好関係を継続していくつもりである。



36回献血ACT実施

平成6年3月31日(休)

浦安シーサイドLC

会 長 L鈴木定雄
PR委員 L川口英樹

浦安シーサイドLC杯争奪少年サッカー大会

当クラブでは毎年、青少年の健全育成と地域交流の目的を以て、浦安市サッカー協会少年部に属する小学六年生のチームの卒業と送別とを兼ねて、五年生・六年生合同の「浦安シーサイドLC杯争奪少年サッカー大会」を恒例事業として行っております。

今年は去る3月13日(日)浦安市日の出小学校々庭で、市川市少年サッカーチームを招待して、挙行されました。

当LCクラブも全員が参加、地元サッカー協会の指導

員と共に準備・記録を担当し、観戦者は熱が入り声援に喉を枯らしました。天気こそは上々でしたが、何とも寒い寒い会場でした。然し少年達の熱闘には、LCメンバーも応援父兄も皆汗をかく程でした。結果として浦安市のチームが優勝しましたが、強い市川市少年サッカーチームの奮闘と技術は地元の少年達にも大いに勉強になった事で意義有る一日と成りました。



松戸LC

松戸LC・草津温泉LC姉妹クラブ締結記念合同例会

2,000m級の山々に囲まれた海拔1,200mの高原に位置する上信越高原国立公園・草津温泉は日本のチロル地方と呼ばれる、澄んだ空気と明るい光り、抜けるような青空、それに日本一と云われる効用豊かな温泉。この素晴らしい温泉リゾート地に我々松戸LCとの姉妹縁組をするブラザー・クラブ草津温泉LCがあった。1994年4月24日(日曜日)PM4:00から草津町ほてるヴィレッジの会議室において、松戸LCメンバー39名、草津温泉LCメンバー25名、出席のもとに簡素の中にも厳粛の内に姉妹クラブ締結合同例会が開催されました。



松戸中央LC

江戸川にサケをもどそう放流会

江戸川にサケをもどそう放流会が2月26日(土)に江戸川浄化の願いを込めて江戸川へ放流されました。

松戸市内の小・中学生など約750人が参加、放流に先立ち「お別れ会」が開かれ、三カ月間育てただけに、どの顔も名残惜しげ、放たれた稚魚たちも、はじめは江戸川の大きさに戸惑いがちだったが、しだいに流れにもなれ元気に泳ぎ出し、みなひと安心。

松戸市少年サッカーフェスティバル開催

平成6年4月17日(日)

江戸川古ヶ崎サッカー場



松戸南LC

PR情報委員 L根本一男

「桜まつり」資金獲得ACT



去る4月2・3日の両日松戸市観光協会主催による恒例の常盤平「桜まつり」が開催された。両日ともに晴天とまでは行かないまでもまずまずの天気恵まれ、かなりの人出があった。当松戸南LC(松永智太郎会長)では社会福祉委員会の指揮のもと、資金獲得ACTに快汗を流した。2日のメンバー献品によるバザーと両日共焼きそば、チキンバー、フランクフルト等の屋台店を出店し合計30万余の資金獲得が出来た。

柏中央LC

第7回柏市小中学生書初大会授賞式

新春恒例の柏市小中学生書初大会の授賞式が、2月6日柏中央公民館の講堂で行われました。

文部大臣賞は、豊四季中の加藤香織さん、千葉県知事賞は、柏第五中の猪俣絢子さん、柏中央ライオンズクラブ大賞は、駒場東邦中の青山昌貴君、ガバナー賞には、高田小6年の山崎加奈さんが、それぞれ選ばれました。入賞した200点余りは、3階美術サロンに展示されました。



柏グリーンLC

出会い・ふれ愛・感動!! 大盛況の聴覚障害者の為の手話講演会

平成6年2月6日(日)

耳の聞こえない方々は、障害者の中でも外見では仲々判別しにくく、福祉行政上も、日常生活に於ても、ともすると忘れられがちで、さまざまな不便や苦勞があるようです。そこで我々柏グリーンLCでは、聴覚障害者の



方々の為には何かお役に立てる事が出来ないだろうか、一年以上も前から準備に入り、ボランティア団体や行政とも相談・打合せを重ねながら、障害者の希望も取り入れて、東葛地区では初めての手話講演会を開催した。

当日は定員350名の柏市民文化会館小ホールに立見が出る程の超満員の盛況で、講師の丸山先生も乗りこなし、汗したたる熱のこもったパフォーマンス手話講演に、障害者の観客も我々メンバーも何度も何度も感涙にむせびつつ聞き入り、手話落語や手話人形劇等もあり、終演となっても唯一人席を立とうとせず拍手が鳴り止まない……まさに感動のひとときであった。我々の行ったこの講演会がきっかけとなり、障害者に対する地域社会の理解と福祉の啓蒙に大きな役割りを果たしたものと自負しております。新聞各紙等マスコミにも取上げられ、大きな反響を呼んだ。

柏オークLC

かしわっ葉福祉まつり開催

さる3月13日(日)に行ないました「かしわっ葉福祉まつり」での写真です。

柏市社会福祉協議会との共催でありますこの事業に私どもは協賛金の10万円寄付とともに、会場にて餅つき大会を行ない、その売り上げも寄付させて頂いております。今年の売り上げは¥52,050でした。1986年以来9年間の継続事業であります。

多くのメンバーの協力のもと、今年も楽しく行ないました。



船橋中央LC

青少年スキー交歓会実施

3月27日(日)～29日(火迄)、姉妹提携をしている、十日町

LCと青少年スキー交歓会を実施した。

労力ACT 15名×12H×3日=540H

金銭ACT 1,000,000円



船橋ポートLC

女性会員2名入会

船橋ポートLCに中山仁子さん(司法書士)、松本江身子さん(飲食店経営)の両氏が入会されました。

船橋市内に6クラブ有りますが、女性会員は初めての事であります。

松丸ガバナーの女性会員増強の方針に、高村会長もその意向に沿って努力した賜物と会員一同、3月第1例会で祝福しました。

写真は、両氏に初代会長と現会長が、Lバッジを授与しました。

両氏が語られた抱負は、「一人では何も出来ませんが、ライオンズクラブに入会する事によって大きな奉仕をしたい。」 L中山仁子

「献血運動などに是非、参加したい。」 L松本江身子



市原LC

幹事 L吉田紀雄

本年度2回目の献血ACT

今年度2回目の献血運動が平成6年4月9日(土)ダイエー市原店前にて午前10時から午後4時まで行われました。

今回は通常の献血車の他、成分献血専用車の出動も千葉赤十字血液センターに依頼し、特に広報宣伝方法に趣向をこらし、地元地域新聞による告知活動。献血ノボリ旗30本を近隣の電柱に掲げ、又献血宣伝カーによる呼びかけを行い、全市民に市原LCの名称と献血に対する啓蒙活動が活発に実施されました。

尚、当日は親善友好の為、来日されたスリランカのカツウエルガマLC会長イダエラL他2名が応援に駆けつけて頂き活動がより一層盛り上がりしました。

終了後地元の五井グランドホテルにて親善の会食を催した際、市原LCの有志がドネーションを出し合って5万円が集まり、カツウエルガマLCを通してスリランカの子供達に教材を贈る資金として献金致しました。又ZC青柳Lの奥様の手造りである壁掛人形を贈り拍手喝采を浴び、日・ス友好親善の一役を担いました。

(当日の採血量 37,400cc)



6R・1Z

6R・PR情報委員 L青木芳政

6R・1Z愛の献血実施



本年度事業としての「献血への協力」は、4月26日(火)に、第2回目として館山駅前広場にて朝9時から午後3時までの間、クラブ員や市民、会社団体の皆様に呼び掛けて献血運動へのご協力を求め、6R・1Z内の会員達のご奉仕を得て行われた。

各クラブ単位では、下記の通りです。

- 館山L・C 14,000cc 14H
- 館山南L・C 14,000cc 70H
- 館山北L・C 3,600cc 14H
- 館山中央L・C 15,000cc 26H
- 鋸南L・C 3,000cc 75H
- ※成分分析3名 1,800cc

館山LC

会長 L 隈澤一也

第3回チャリティボウリング大会

市内のボウリング場にて参加約200名を得て、趣旨に賛同する市民は、和気あいあいのムードで楽しく行われた。このチャリティ収益金はYE活動、ミニバスケットボール大会、鏡ヶ浦駅伝大会などの主催基金としての事業です。既に継続事業となっている関係上、運営費として充当されることになっています。

青少年育成資金獲得 ¥329,628

労力ACT 30名 150H (ボウリング大会)



館山中央LC

会長 L 青木紀夫

第16回青少年剣道大会



熱戦が続いた青少年剣道大会

館山中央ライオンスクールの選手が参加して行われた第16回館山市三芳地区青少年剣道大会が、平成6年2月6日(日)館山第三中学校体育館にて約400人が参加して行われた。大会は、青少年の健全育成と活動力向上を目的として、館山の小学生から高校生までを対象に毎年開かれている。試合は、小学校四年から中学二年までが学年別個人戦、高校は団体戦で行われ、家族らの声援の中、熱戦が展開された。

青少年が熱戦展開

館山市、三芳地区剣道大会開催

近頃は何かとサッカー談義の話になる。子供らも同様にサッカーへなびいている中で上々の盛り上がりを見せた第16回青少年剣道大会は、平成6年2月6日(日)館山第三中学校体育館で行われた。県南で幾つかある中で唯一個人戦となっている関係で、一年間が待ちどろしいと保護者共々待望の大会となっている。地元剣道連盟の指導者の方々からも熱望されている重要な大会である。このような大会への奉仕にクラブ員も朝からお手伝いで汗を流している。

金銭ACT ¥550,000 (メダル代)

¥25,000 (三中の渡り廊下を寄贈)

労力ACT 415時間 前日16:00~18:00

当日8:00~16:00

房総勝浦LC

会長 L 岩政俊雄

第3回南房総青少年柔道大会

第三回南房総青少年柔道大会を市内の日本武道館研修センターに於いて、2月6日(日)に、中学校・高等学校合わせて26校参加。千畳敷きの会場を四面割しての試合は、勝ち上がった4チームによる決勝トーナメント戦。

初春の柔らかな空気をここでは鋭い気合に張りつめた空気になって、激しい攻防を見ていた。成長期の若者の気迫ある姿に一瞬の高揚を感じる程の立派な試合となった。

主催経費 金銭ACT ¥500,000

労力ACT 180H (30名参加)

Vは安房高、富浦中の高学年参加した。千畳敷きの会場を四面割して行われた試合は、千畳敷きで戦った4チームによる決勝トーナメント戦。岩政俊雄主催の一両選手には、鋭い気合を胸に柔道大会が6日、込めながら激しい攻防を見せていた。市内の日本武道館研修センターに於いて行われた。大会は青少年の健全育成と交流を目的に開催している。今年で三回目。南房総を「中世」の柔道の中心に十校の中学校・高校、県、大勢。



熱戦が繰り広げられた柔道大会—日本武道館研修センター(勝浦)

白子LC 会長 L上代雅之

チャリティダンスパーティー開催

桜花の咲き乱れる好時節白子LC主催によるチャリティダンスパーティーが4月10日白子町国民体育館に於て開催された。ダンスの愛好者480名の大勢の参加者があり盛大且なごやかさの熱気に包まれ大成功を収めた。

一般の人々も共に参加してのアクティビティでありLCのPRも兼ね揃えこんな行事が最も良いと思う。

収益金の中から青少年育成資金として町の教育長に金一封、福祉事業資金として町の更生婦人会長に金一封を贈呈した。



長南LC

交通安全帽子寄贈



3月28日(月)に、長南町、町内4小学校へ交通安全帽子を、長南LCから、122個寄贈しました。

例年、新1年生が入学するとき、学校より渡しています。

帽子の右側に校名を、左側に長南ライオンズクラブの文字を記入してあります。

保護者から、毎年好評を受けております。

長柄LC

町内小学校へ天幕をプレゼント

豊かな緑、清い水のキャッチフレーズ私共長柄ライオンズクラブは千葉県のだ真中に位置し町内に小学校3校、中学校2校があります。毎年一校を選び順番に天幕一張りプレゼント実施しています。本年は山間の児童数180数名の水上小学校に決まり、去る2月22日町の教育委員会立ち合いのもとにクラブ会員の友次Lと吉橋Lから小学校長に手渡され大変喜ばれました。

写真左より吉橋L、友次L、小学校長。



春の献血活動

東金LC恒例の春の献血奉仕活動が去る4月22日初夏のような青葉若葉に包まれたすばらしい好天に恵まれながら、午前9時より市の中心部であり人通りの多い場所で開始された。受けつけているといつも来てくれる顔ぶれの人が多く人の命を救う為に忙しい時間の中をわざわざと考えると心をこめて御苦労様ですと感謝する。

おかげ様で今日も最後の献血量の集計をみると来てくれた方々が176名で不適格者16名、量で分けると200ccの人が105名、400ccが45名、成分献血者が12名、全部で45,000ccと第7リジョン内ではずばぬけてよいいつもの好結果を収める事ができて東金LCメンバー一同喜びに浸った次第です。



言語障害児福祉ACT



昨年の4月から、成田市言語障害児をもつ親の会の活動の一環として、障害児の為に日本舞踊教室を月二回開いております。この教室は、社会福祉協議会と成田ライオンズクラブの後援の基に、坂東流坂東時緒先生の主宰する、緒の会の皆さんがボランティア活動として子供達を指導して下さいております。子供達の幸せを願って教室の名前を「幸の会」と名付けました。そして今年の9月15日に国際文化会館で行なわれました市の

敬老会に参加して

成田市言語障害児をもつ親の会
時田 幸江

敬老会に初めて出演させて頂きました。女の子6名は「十日町小唄」を舞扇をもって踊り、男子6名は「黒田節」を金屏風を背に絞付き袴姿で踊りました。子供達が身につけた貸衣裳代等は成田ライオンズクラブのみなさんがご援助下さり大変助かりました。間違わず上手に踊ることが出来るだろうかと親達の心配もどこへやら、子供達は唯、一生懸命に踊りました。その姿に会場の皆さんも涙を流して見て下さいました。「障害をもった子供達があれだけ立派に踊ることが出来るのだから、年令はとつても丈夫な身体をもっている以上、頑張って生きていかななくては」とのうれしい言葉もかけて下さいました。また敬老会の後、子供達の踊る姿に感動し、指導された坂東先生にも頭の下がる思いがしましたとお手紙やご芳志、子供達が敬老会で踊っている写真など、多くの方々からご援助いただきました。今、障害福祉の方

向として社会的にノーマライゼーションの理念の浸透がさげばれている中で、こうした機会を通して子供達を地域の皆様にご理解していただけたことを大変感謝しております。また子供達が地域の皆様と共に生きていけることを幸せに思います。これからも街のどこかで子供達を見かけたら、どうぞ声をかけて下さい。それが私達の生きていく「励み」にもなります。最後に今回大変お世話になりました社会福祉協議会と市関係の皆様、坂東時緒先生と緒の会の皆様、成田ライオンズクラブの皆様、励ましやご援助いただいた皆様そしてあたたかい拍手を下さった会場の皆様にご心より感謝申し上げます。

以上



佐倉LC

チャリティダンスパーティー



1月29日・於志津コミュニティセンター

収益金を社会福祉へ



佐倉市福祉課へ車椅子10台寄贈

金銭ACT ¥660,000

労力ACT 523時間

8R・1・2Z

8R・2Z・ZC L塚田雅二

合同青少年育成ACT

日本ボーイスカウト印旛地区協議会の第3回台湾親善交流派遣団は6泊7日の台中ボーイスカウト「童子単」との国際交流で、友情を深め、無事帰国した。

台中、中正露營区のキャンプ場での開村式にはL山浦（佐倉LC）と参加し、両国の国旗掲揚をし、エールの交換等々で盛大なキャンプ場開きが行われた。

又、28日の印旛地区協議会主催の「感謝パーティ」には、L林、L河合（成田LC）が参加し花を添えた。

ボーイの帰国に際しては、友好クラブである台北ノースLC、台北大学交友クラブのメンバーによる「サヨナラパーティ」を開いて頂き、更なる友情を深めた。



ライオンズクラブ国際協会・333複合地区 第40回 1993—1994年次大会

1994. 5. 29 於グリーンドーム前橋

議長年次報告

333複合地区ガバナー協議会

議長 L. 吉澤弥彦

333複合地区内皆様のご協力により、本年度は別項の通り、A、B、C各地区ガバナーと前議長ともども、333複合地区ガバナー協議会を構成し、さらに別項の通り複合地区委員会を構成して、運営して参りました。各位のご協力により、実りある成果を挙げる事が出来ましたことを深く感謝申し上げます。

ここに1年を顧みて、その経過の概要をご報告申し上げます。

◆国際関係

〔1〕第76回国際大会

- (1) 第76回国際大会は1993年7月6日～9日アメリカミネアポリスにて開催され、ジェームス・T・コフィー国際会長（アメリカ）が選出され、国際理事として日本からL. 名越勉（336-B地区倉吉LC）が選出されました。またL. 名波倉四郎（330-A地区東京杉並東LC）が国際理事会アポイントに任命されました。次回国際大会は、アメリカ、フェニックスにて開催されます。
- (2) 国際会則3項目の改正案が可決されました。
- (3) クラブ会員全員がMJF寄金を行い、閉会式当日表彰されたクラブは全世界で10クラブあり、そのうち日本のクラブは7クラブあり、333複合地区では市川東クラブ（333-C）、成田平成クラブ（333-C）が表彰されました。
- (4) 人道主義が長年にわたり視力保護のために功績のあったインドのアルビント・マハトラルに大賞が閉会式で贈られました。
- (5) キャンペーン視力ファースト
1992年～1993年、10万ドル以上寄贈した全世界の大口献金は18名が閉会式で表彰されました。
- (6) 大会参加代議員数は次の通りでありました。

全世界	代議員	6,938	補欠	841	合計	7,779名
内日本	代議員	309	補欠	8	合計	317名

〔2〕第32回東洋東南アジア・フォーラム

第32回OSEAL・フォーラムは、1993年11月8日～11日ソウルで開催されました。

日本のL松原文 およびフィリピンからの1名を1994～1996年度国際理事候補として推薦する。

参加者数は11,442名で、日本からの参加者数は3,732名でした。

次回第33回フォーラムは、1994年12月1日～4日迄310複合地区、タイ国のバンコクで開催されます。

第34回O S E A Lフォーラムは、303複合地区ホンコンで開催されることに決まりました。

◆全日本複合地区関係

- (1) ローイット・メーターLCIF委員長（前国際会長）が来日、9月21日東京会館において、330・331・332・333複合地区合同のLCIFセミナーが開催されました。
- (2) 11月20日ピノ・グリマルディ国際第一副会長が来日し横浜ホテル・ニューグランドにて、330・331・332・333複合地区合同にて公式訪問並みに歓迎午餐会が行われました。
- (3) 1994年1月21日ジェームス・T・コフィー国際会長公式訪問並みに歓迎午餐会が、330・331・332・333複合地区合同で東京会館で行われました。
- (4) 第12回全国アイバンク・シンポジウムが、333複合地区主催で1994年4月8日、新潟市ホテル新潟で行われました。
第13回シンポジウムは335複合地区で開催の予定であります。

◆333複合地区

- (1) 本年度党複合地区アワードを次の通り定めました。
 - ①長期在籍功労賞
 - ②クラブ、EXT、功労賞（スポンサークラブ）
 - ③会員増強功労賞（各地区上位5ZC）
 - ④MJF功労賞（各地区上位3RC）
 - ⑤CSFクラブアワード
- (2) 各委員会委員長は、8複合地区委員長連絡会をそれぞれ数回開催し、共通、関連の事項の審議を行いました。全国レベルの委員会も、それぞれ開催されました。また地区委員会も各委員会とも1回以上開催し、それぞれ当面の事項について審議をすすめました。
- (3) 本年度より当333複合地区、YE事務局が千葉市に固定され、発足しました。

◆地区

A、B、C各地区の活動状況については、本誌各地区現況報告をご覧いただきたいと思えます。



M J F 名簿

今期、CSFは皆様方の絶大なるご協力により成功裡に終盤を迎えました。CSFは本年度で完結しても、MJFは継続されてゆきます。

1981年7月、当C地区が分離独立して以降のMJF会員を集約してみました。既に物故された懐かしい会員のお名前も含まれております。取り敢えず據出回数を省きまして人数を集計したものです。(順不同)

R	Z	クラブ名	M	J	F	名
1	1	市川	山田 源一・大塚 稔次郎・宇野沢 璋・渡辺 誠之・永藤 一行・式場 俊文夫 式場 俊文夫夫人・吉原 稔人・畝本 昌介・長谷川 一吉・宮川 常吉			
		市川東	斉藤 慎司・立石 秀春・林 一公・田邊 誠二・軍司 育雄・笹本 瞭・伊藤 一郎 竹内 十記男・寺井 一郎・山岡 景恭・三橋 英作・竹内 弥・石神 元州 金子 利夫・松丸 泰介・小出 善之輔・吉永 秀年・田村 統司・藤田 昌稔 東谷 満・奥寺 瑞政・米 昭八郎・千野 宏・中沢 弘允・甲田 忠義・森口 昌彦 岸 邦信・高木 正平・藤嶋 庄平・浅井 和彦・新井 敏夫・木下 好春 遠藤 幸秀・藤井 勇・伊藤 三郎・森 博・中村 勝幸・阿久津 仁・江口 清 小河原 雪子・下村 栄喜・土本 勝信・川上 浩			
		下総中山	松丸 善次郎・巴 正文・石井 正勝・斉木 光雄・川崎 忠男・松丸 征勝 岡田 治平・石井 茂・岩崎 隆司・上篠 治平・五関 貞・鹿島 孝・大久保 博 平野 延仁・松丸 浩一・久保 吉平・熊谷 武敏・千葉 光行			
		浦安	西野 茂・鈴木 正昭・宇田川 隆・熊川 秀和・秋山 吉五郎・阿部 修 石井 轍・今井 謙次郎・岩田 正義・宇田川 彰・宇田川 菊・宇田川 喜作 内田 千尋・梅沢 勇・ウイリアム・ピトン・太田 勉・大塚 寿一・大塚 光博 岡崎 盛夫・岡本 勝美・折本 浪次・亀井 松夫・川村 傳・古河 守男 小山 善一・佐々木 孝・佐藤 次郎・鹿野 新一郎・篠原 一彦・杉山 徳生 鈴木 佐一郎・醍醐 善三郎・醍醐 重盛・田中 由三・谷尾 博保・中村 重治 中田 久尚・長野 敏樹・西垣 皓司・浜野 久雄・平林 清重・福田 清 丸茂 陽一・山崎 次雄・吉野 重夫・吉野 眞太郎・渡辺 代一・大塚 隆行 田中 照夫・峯崎 一男・比佐 勇・西野 登喜子			
		行徳	川上 恵洋・京都 忠之・中島 富五郎・宮崎 宗治郎・篠田 重郎・倉田 登 杉浦 悦夫・久鬼 務			
		市川北	秋元 三男・山岸 行利・三世川 勝次・富川 幹夫・小杉 恒作・小泉 正雄 和泉 匡英			
		浦安シーサイド	伊藤 秀男・越智 美吉・大木 由紀夫・大須賀 稔・坂田 敏雄・古賀 孝 穂谷 一郎・長谷川 中・宮崎 英一・森 茂次郎・鈴木 定雄・朝長 洋 岡本 昭夫・和泉田 英昭・池田 治郷・折本 豊・塚本 弘			
		2	松戸	渡辺 弥一郎・吉岡 重利・室橋 惟皓・鳩谷 敏明		
	流山	江原 敏夫・椎橋 健一・豊島 啓行・染野 淳三・伊藤 實・松本 守郎 藤井 常春・大塚 俊雄・大塚 弘年・新倉 隆・花野井 源壽・皆川 春安 斉藤 太嘉志・石塚 三喜夫・若林 睦也・鈴木 文男・佐藤 清一・小谷 正太郎 岡田 武・岡本 光雄				

R	Z	クラブ名	M	J	F	名	
1	2	松戸中央	安積 潤・厚地 敬之・新井 明男・内田 勝治・板橋 正夫・磯部 敬一 荒巻 猛・小白 高司・佐藤 利之・清水 延圭・和田 康男・松川 正 海老原 道雄・岩橋 明・五十嵐 雪男・大原 忠臣・川上 昭治郎・坂本 政次 石橋 寿三				
		松戸東	久我 泰基・島村 朋典・川村 渉・上田 雅司・林 勝美・田原 俊夫・駿高 敏之 小暮 勝正・養輪 信治・保科 保・島根 厚生・中島 忠雄・紺野 淳志 植竹 義一・奥野 泰二・岡田 喜久男・菊地 忠光・小暮 利夫・関川 和則 高橋 巖・松田 政一・皆川 栄一・山中 永一・真鳴 誠一・水野 武明 細山田 良三・鈴木 正家				
		野田	高橋 利夫・大西 修・山崎 安一・ライオンズクラブ・佐藤 聖治・吉岡 康之 吉沢 武・高木 次雄・森 久・中村 正・大内 雄夫・仲 啓一・田中 成章 高沢 圭助・中嶋 英雄・中山 敏夫・肥田 喜成・中村 賢司・豊田 正 森川 文明・吉岡 秀一・高羽 和夫・瀬能 富男・斉藤 好一・金剛寺 昭一 樹下 祥二・染谷 幸雄				
		松戸ユーカリ	須藤 邦夫・上吉 司郎・丹沢 八郎・黒沢 秋男・大橋 功・長谷川 守 秋山 貞夫・杉浦 正八・丸山 栄一・市川 国男・高柳 光宏・宇佐見 康夫 高橋 昌男・吉岡 守・高橋 菊男・黒沢 健治・榎田 良豊・大熊 義治 齋藤 均・松丸 正明・市川 保				
		関宿	相澤 清・鈴木 壽三夫・後藤 祐亮・鈴木 秀男・直井 治・富澤 昇				
		松戸南	戸田 栄造・高岡 輝・上杉 健司・石井 恵雄・山口 功・松永 智太郎 根本 一男・笹岡 嘉治・岩田 富久司				
		流山ライオネスクラブ	苫米地 文代・浦野 善子・内藤 いつ				
		3		柏	寺嶋 周三・伊藤 恭一・藤川 和則・野口 英雄・石戸 幸治・大久保 興一 海老原 正保・岡田 貞一・飯塚 末雄・片岡 義一・田中 昭雄・秋元 栄一 志水 成芳・梶屋 輝雄・岡部 孝雄・花島 秀行・長岡 広治・伊藤 健司 宗 達也・松井 四郎・鈴木 寿男・新井 守・山田 三郎・貝塚 正己 仙田 秀一・芳野 幸男・泉 佳秀・島根 毅一郎・助川 広・山澤 啓伸 水口 和夫・市村 衛・田口 栄一・森下 泰伴・中野 愛彦・神崎 友見 吉田 隆雄・角谷 正一・渋谷 俊夫・萩原 廣・吉田 関・高田 緑郎・日暮 政則 浜島 昌平・青木 良弥・高梨 雅雄・根本 好		
我孫子	佐藤 明吉・増田 晴彦・小池 勇・山田 貞夫・飯田 和行・今井 喜美男 信田 昇・海老原 剛・豊島 将幸						
柏中央	上原 富美夫・池田 健次郎・高津 三平・小林 国利・小杉 和久・松本 幸夫 進藤 良隆・竹之下 和幸・山田 宏・高田 直寛・加藤 芳雄・畔高 敦司 鈴木 稔・加藤 誠・山崎 四郎・根本 賢二・谷口 喜彦・上野 正勝・風沢 聡吉 浅野 桂吉・増田 一仁・根本 静男・谷沢 定郎・金子 元宣・後藤 隆一 関口 清高・金子 秀雄・富沢 偉人・田口 恵一・小笹 茂・佐藤 隆久 佐藤 利・伊藤 博・鈴木 正和・榑 徹・秋元 貞夫・長妻 功・飯田 辰雄 河目 敏明・大里 潔・渡辺 光男・関根 豊・石江 良治・須山 芳臣 佐藤 孝雄・山崎 三也・大田 英隆・飯泉 勇次・浜島 行男・鈴木 晴男 増谷 中志・野口 茂樹・国吉 一男・越川 健・森 信悟・井村 武・大塚 光司 岡久 高明・奥沢 勲・小林 一康・鳴村 一郎・鈴木 和行・藤本 定明 山崎 勝久						

R	Z	クラブ名	M	J	F	名	
1	3	柏グリーン	高田 浩・萩原 昭・杉浦 清美・藤原 興巳・岡田 秀二・上原 政隆・斎藤 茂 近藤 範孝・渡辺 晋・林 泉・山口 忠夫・大森 啓・塚田 裕也・大畑 吉男 大池 昭・斎藤 明久・櫻田 義孝・竹内 政二・松丸 英雄・成島 憲雄 大島 正信・吉野 実・小川 茂・平川 進・坂巻 真一・田代 忠徳・野口 精治 関口 眞・小林 昭・濱島 壽一・下山 勝郎・深澤 孝夫・寺嶋 稔 小菅 光行・藤武 勝彦				
		印 西	赤城 稔也・浅野 重一・藤井 松男丸・斎藤 富雄・渡辺 弘・須藤 幸雄 青野 正男・大野 克己・柴崎 達夫・川村 和伸・寺田 好一・平川 孝男 海宝 勝彦・内田 誠・毛利 隆一・山口 芳弘・吉田 富男				
		柏 オーク	寺嶋 佳一・広木 義清・中嶋 利生・富沢 隆・佐久間 勝利・広瀬 秀二 武江 克彦・小田山 博史・木村 吉五郎・並木 正之・湯沢 正次・村岡 孝治 大沢 一男・窪田 和典・池田 良一・小倉 祐三・吉野 義定・吉田 峰雄 福山 捷馬・吉場 善吾・加室 芳人・鈴木 和夫・兼子 喜代志・吉田 章 石和田 稔・大山 幸吉・伊藤 満・田中 博・金子 十三男・浅野 総一郎 伊東 英樹・日暮 新一・小沢 克己・岡本 清・飯田 捷夫・小塩 和寿 鈴木 将勝・吉田 良雄・椎名 家弥・大川 善光・鈴木 利資				
		柏 さくら	藤井 美昭・井上 広里・滝沢 勝治・浦山 昇・山口 春雄・菅野 典子 谷津 新年				
		柏 なの花	坂 喜代・風見 政子・坂巻 恵子・山川 美知子・植村 力子・小田部 光子 池松 由利子・小池 輝子・永田 益子・喜多 美奈子				
2	1	船 橋	小泉 昭・小西 宗仁・秋元 三郎・尾崎 直司・佐土 一正・高橋 弘・金沢 良一 三橋 恒夫・多田 健一郎・木下 務・和田 毅・高橋 巽・大久保 和吉 宮崎 清・村山 操一・下川 政雄				
		船 橋 中 央	酒井 茂・水木 圭司・小倉 芳松・津野 生夫・小林 正友・行川 金之丞 矢橋 知巳・太田 勇次・永田 進也・山中 康誠・中 良一・安藤 征司 太田 直見・田中 清衛・高橋 章・遠藤 幸四郎・鈴木 利一・織戸 光男 竹内 貞・湯浅 英世・藤代 誠・羽住 英一・平山 長次郎・石毛 明雄 酒井 敏男・高橋 勲・湯浅 久二義・平田 伸志・伊藤 精一・塩田 徹 黒田 治郎・千田 好明・林 静誠・橋本 忠雄・石神 英治・仲村 隆芳 滝口 均・荻田 善男・宮本 清・高橋 芳夫・田嶋 伯夫・松山 典夫 藤原 眞太郎・斎藤 進・岡 恒雄・藤原 宏高・神田 泰助・森田 雅巳 櫛田 信明・小仲井 富次・桜井 一正・友田 直・安部 昭一・中村 富一 加藤 実・柴田 春一・鈴木 節男・前田 忠啓・堀江 義幸・元橋 茂夫				
		鎌ヶ谷	平田 稔・相馬 辰秋・池田 孝吉・伊藤 秀継・永井 寛・塙 広・伊藤 明郎 山田 貢・関根 謙一・高森 長男				
		沼 南	石戸 武昭・浜田 一男・川崎 栄三・古川 清・石戸 道弘・平川 佳司 山村 和夫・坂巻 豊国・石澤 宏之				
		船 橋 ポート	小石 税・桑島 功・鈴木 正興・大庭 明・田口 信義・木村 孝夫・高橋 剛 藤沢 茂雄・渡辺 賢・土井 幸四郎・根岸 賢司・下川 肇・鈴木 一二 徳田 衛・高村 昇一・嶋村 精一・皆川 泰蔵・竹内 宣之・石川 祐熙 鮑田 英世・下川 肇				
	2	習 志 野	吉田 政勝・渡辺 惇・竹田 良美・竹内 清・田久保 良作・望月 武峰 安西 晃男・石塚 康雄・小川 勇一・原口 栄一・高村 圭左右・蒔田 辰男 宮森 義明・故 関 芳郎夫人・卯木 基夫・山川 龍				
		八 千 代	平田 博和・小林 登・大久保 正道・中村 清成・岡崎 勲・小宮 保廣 高橋 重成・工藤 晃国・船越 博文・秋葉 琢磨・杉岡 昌明・金井 一夫 宮本 隆行・多賀 和男				

R	Z	クラブ名	M	J	F	名
2	2	船橋東	押見 彰威知・名取 駿・阿多 工・荒井 茂・石井 英雄・稲元 克宣・植野 英男 興石 栄一・近藤 英博・清水 昭尾・佐々木 光男・田辺 強・実川 洋一 田中 久雄・野田 昌直・林 進・本多 文雄・村岡 信雄・森 博文 山田 譲二・近藤 幸治・近藤 毅・谷内 良弘・矢野 敏司・牧野 進 篠田 圭司・西部 耕助・小林 真・渥美 雅康・植野 英男・及川 雅賀 佐野 正博・萩原 巖・木村 宏・野山 青雲・菅 邦欣・追立 正弘			
		船橋京葉	鈴木 行正・桜井 留治・川崎 隆二・古山 典勇・金子 和夫・今井 良臣 古谷 祥一・金子 成康			
		船橋北	鈴木 晃秀・高久 菊男・大谷 昇・石井 幸雄・宮澤 正則・江口 信雄 村上 宏貴・玉井 勝幸・森 俊彦・山内 豊彦・八田 勝利・常沢 秀治 押田 佳則・中村 弘・又来 英雄			
		習志野中央	安斉 順・飯田 偉佐雄・小川 嘉一郎・梶本 伸一・富原 啓・神谷 孝治 佐藤 錦也・土屋 敏一・長江 一・松信 堯・三代川 茂雄・北端 保路			
		八千代東	立田 幸雄・古田 正武・赤田 久子・今井 章一・前田 勇・周郷 昭雄 田村 哲子			
		白井	江田 健治・野村 明史・永松 頼男・亀川 清人・山崎 明・恩田 武男 石田 敏夫・菅原 和夫・松岡 啓一郎・岩井 一夫・山崎 一之・宇賀 知重 渡辺 動・米井 楯一			
3	1	千葉	榎 智光・岡野 正義・中村 勝和・清水 義雄・中村 彰・霜 礼次郎・日暮 英勝 齊藤 和夫・白井 一世・戸村 哲也・塩沢 健治・澤本 久男・綿引 正直 椎名 益男・佐瀬 喜一			
		千葉中央	高山 照襄・矢田 常吉・小川 弘・鈴木 脩・吉田 道・三上 修・花光 昇一 花光 長一郎・久保田 宏・中嶋 茂・鷺見 隆世・林 隆而・鶴岡 正次 桑田 昭・飯野 信一			
		千葉若潮	山中 右一・千葉 文士・松永 良夫・井桁 和夫・小山 一路・若王子 徳次郎 吉村 英伸・川崎 康夫・大谷 孝一			
		千葉ポート	小川 重二・松井 道男・中村 純一・富田 稔・太田 禊之・高橋 豊			
		千葉幕張メッセ	石橋 凱夫・飯島 宏治・川崎 敏夫・佐瀬 俊之・砂川 稔・初芝 昭二 向後 弘道・阿佐 幸雄・栗飯原 一雄・馬場 信一			
		千葉グリーン	岡野 一吉・小川 孝徳・行木 道嗣			
	2	市原	高津 四郎・美濃輪 淳・吉田 紀雄・大瀬 康也・青柳 吉昭・森 和夫 吉田 伊知朗・庄司 辰二郎			
		千葉エコー	中村 喜之助・近藤 栄一・新貝 孝逸・竹内 昌夫・池田 繁香・中村 新一郎 深山 新蔵・附木 年正・尾形 祇文・三川 重夫・勝又 俊澄・中島 耕造 岡部 文彦・富田 武・山寺 修三・村田 義一・日暮 政雄			
		市原南	御園生 孝・高品 和夫・白鳥 正吉・高鍋 隆孝・深山 信亜・山本 茂 高橋 聖・時沢 延信			
		千葉京葉	渡辺 佐光・山崎 敬逸・村田 増雄・御園生 隆・西沢 貫誠・武本 吉浩 井上 嚮一・日下 忠文・松崎 力雄・原島 栄吉・歌川 深一			

R	Z	クラブ名	M	J	F	名	
4	1	佐原	長島 彪・島崎 大弥・横川 祐喜・平山 真佐雄・篠原 邦夫・塚本 潔 高木 善一郎・久保木 正道・関 重雄・石橋 直・藤崎 武司・小林 春吉 佐倉 栄爾・君和田 文雄・高橋 脩・鈴木 常夫・柳林 新衛・長谷川 好洋 郡司 宗文・富沢 春良				
		東庄	青野 虎二・渡辺 金治・永井 總一郎・関 亮三・齋藤 幸男・石橋 長男 大須賀 光幸・藤崎 久男・斉藤 邦彦・林 寛躬・高木 源三郎・岡野 和男 高橋 惣司・吉田 稔・海宝 新蔵・鈴木 剛夫・林 藤行・山口 英広 五十嵐 章夫・坂本 譲・田谷 廣明・石井 清				
		神崎	石橋 五夫・石橋 俊郎・後藤 好男・大島 武夫・大竹 巖				
		銚子中央	山口 彦太郎・高津 四郎・伊藤 平一郎・橋口 一夫・深沢 照豊 見市 常造・関根 喜一郎				
	2	八日市場	神子 文雄・土屋 晃也・井橋 昇・鈴木 晴夫・佐久間 隆・鶴野 孝二 大木 三郎・鈴木 八郎・橋本 喜夫・勝股 清・木原 健夫・大関 哲臣				
		総武中央	吉岡 実・伊藤 斉紀・吉岡 憲一・吉岡 昭・永野 貞雄・川島 達也 土屋 英雄・林 詔一郎・田中 蔵三・椎名 紀夫・江波戸 正順・真壁 力 鶴沢 高志・伊藤 重雄・原田 進吾・町山 廣・小川 茂義・石田 健二 古谷 淳・石橋 登喜夫・川島 丈夫・高野 博志・五木田 正巳・越川 浩一				
		多古	平山 昭二・押田 隆雄・平山 広・白鳥 重雄・平山 邦夫・本多 武郎 土井 広・伊藤 薫明・増田 郁夫・山崎 金作・平山 譲・鈴木 守 平山 昭一				
		大栄	山倉 茂男・竹林 克夫・三谷 公平・加登 達雄・佐藤 正・藤崎 幸雄 香取 昭康				
		栗源	平野 勝己・堀越 幸恵・諏訪 好幸・高木 貞夫・富岡 正博				
		光	椎名 英夫				
	3	旭	江畑 耕作・林 義夫・鈴木 逸三・加瀬 俊雄・吉田 研二・門脇 瑛太郎 大川 泰・平山 暁・斉藤 靖幸・宮川 昂・伊東 諒・林 正樹 飯島 良夫・越川 兼治・鍋木 護・小倉 八郎・田辺 治雄・北総 栄男 花沢 重治・水村 次郎・嶋田 秀雄・黒須 悦三・金谷 貢・金島 武雄				
		飯岡	砂子 薫・渡辺 弘志・田中 昭雄・向後 和夫・鈴木 功・小林 英雄 加瀬 実・藤野 隆信・水野 征夫・安藤 政平・梅林 光雄・鈴木 一				
		千潟	米本 新治・岩岡 由和・高木 利治・高木 栄一・花香 勝久・菅佐原 莊平 石毛 泰之亮・菅谷 功・古橋 謙寿・杉崎 久・関本 良正・鍋木 太郎 伊藤 嘉平・金杉 清				
		山田町	高木 浩・越川 忍・佐藤 寛治・林 薫・並木 悟一・久保田 精一 大照 堯弘・菅谷 章・多田 信一・竹蓋 信夫・木内 泰平・加瀬 勇 菅谷 泰輔・高木 幹雄				
	5	1	木更津	遠山 金麻津・鳥海 鴻一・金原 二郎・今城 康夫・杉本 尊義			
			木更津中央	佐々木 幹人・石井 丈雄・石井 文男・榎本 栄・佐久間 朗・堀井 明三郎 古谷 茂・近藤 義平・花澤 秀充・秋山 宗暉・飛田 樹一郎・中島 長蔵			
			袖ヶ浦	木場 富久美・我妻 志良・在原 満男・鈴木 実・安田 正吾・佐藤 重兼			

R	Z	クラブ名	M	J	F	名
5	1	木更津金鈴	宮内 栄・卯田 實・梅津 潤二・鈴木 勝夫・平野 広志・増田 庸夫 栗原 久次・鶴岡 大樹・鳥飼 友季夫・若林 一・島野 光司・磯部 君男 鶴岡 忠男・三村 和弘・鈴木 好文・鬼頭 薫・鴨田 光雄・椿 誠 金子 武雄・石井 敏夫・佐久間 義徳・富所 勝喜			
		富 津	高梨 保一・藤平 隆平・飯田 真雄・和澤 義道・原 英一・田中 稔教 山田 嘉広・本多 ゆき・平島 良一・森田 久・鹿島 清太郎・田村 誠敏			
		上 総	高澤 功・一木 善次・神子 孝・鈴木 重一・川俣 雅義・松本 栄司 縄野 新一郎			
		君 津	松田 芳己・保科 嘉彦・鈴木 章・松本 岩男・濱名 敏功・竹内 啓 宮崎 勝治・正木 守・杉浦 明・白石 綱吉・鈴木 豊・梶尾 利徳 甲賀 博・鈴木 俊一・廣部 辰雄・遠藤 隆次郎・津村 三ツ保・茂田 正巳			
		君 津 中 央	松本 良夫・中野 孝雄・鈴木 宏・千頭井 廣次・木村 圭吾 長谷川 貞次郎・三原 文雄			
		群津ライオネスクラブ	正木 秀子・吉田 尚子			
6	1	館 山	村松 卓・広井 武雄・平井 勇・御子神 裕・滝口 喜雄・清川 恒 遊佐 頌三・小谷 有仁・鈴木 重司・川合 敏男・隈澤 一也・小原 元夫 上山 立男・池田 清・穂坂 俊朗			
		鋸 南	松川 正			
		館 山 中 央	鈴木 俊一・武田 明・中村 新・青木 紀夫・渡辺 倫雄・外山 庄次 篠口 正道・酒井 真澄・高柳 詳子			
		館 山 北	松本 巖・平野 晴夫・石井 温・木村 博美・高橋 正爾・岩瀬 定雄			
		館 山 南	野籾 功・福原 久泰・野中 永敏・山本 人也・山崎 吉英・鈴木 謹吾 黒川 浩・安西 喜一・大野 正治・山田 実			
	2	鴨 川	武藤 源・森 喜吉・佐藤 昇・佐々木 義祐・丸 淳一・相川 清 渡邊 廣行・田村 清・小原 進一・宮井 由弘・妻本 健一郎・河名 廣			
		房 州 白 浜	武田 武久・鈴木 秀夫・吉田 英一			
		房 総 勝 浦	岩政 俊雄・土屋 淳一			
7	1	茂 原	内堀 邦雄・小川 芳雄・塚平 博人			
		上 総 一 宮	中川 都弘・高原 滋之・杉山 貞夫・吉野 正三・細谷 実・秋場 寛 勘定 八郎・東條 安夫・篠瀬 三喜男			
		茂 原 長 生	山ノ井 隆夫・小高 昭一・関 與四郎・菅原 明・阿曾 正衛・吉野 孝			
		白 子	小高 祐二・青木 栄治			
		長 柄	川嶋 美穂・半澤 清			
		茂 原 中 央	加藤 亘・鎌田 雅郎・高橋 亘・米良 一美・渡辺 正雄・神宮 武雄 古宮 優・大塚 勇司			
	2	東 金	榊原 吉男・平賀 昇・本田 輝司・上田 鉄雄・土屋 舜・長谷川 茂 安崎 久夫			
		大 網 白 里	大塚 清・飯倉 守・今井 敏夫・井村 大祐・河崎 正明・並木 豊治 山岸 要・吉原 栄一・清水 金二			
		九 十 九 里	錦織 伸正・篠崎 一成・中川 義昭・阿部 昭次・山本 昭勝・富田 勲 松井 幸一郎			
		成 東	高橋 敏雄			

R	Z	クラブ名	M	J	F	名	
8	1	成田	飯塚 洋・山田 政吉・石橋 行与・木内 喜右衛門・伊藤 欽一郎・飯塚 茂男 堀越 力男・伊藤 栄二・飯塚 信一・鳥羽田 宗久・平山 左吉・丸山 成孝 小泉 暉朗・河合 雅史・林 智樹・山内 克己・鬼沢 和夫・青柳 克美 古矢 高志・池田 清・中村 喜三郎・高岡 恒雄・荻原 義之・岩澤 和己 鹿野 重広・名取 郁郎・大竹 清・飯塚 一郎・太田 家広・竹村 剛 谷田 伊左夫・豊福 厚・青野 勝行・諸岡 正己・村山 光史・川名部 智				
		酒々井	小早稲 賢一・京増 正義・高須賀 辰之助・相京 彬・鶴沢 弘・宮 岸男 斉藤 照一				
		成田グリーン	鈴木 義一・中里 武男・有坂 進・真鍋 博・吉田 茂・高木 敏夫・品田 努 田頭 直彦・田頭 宣彦・星 光・岩立 忠雄・谷 照雄・齋藤 忠夫・飯塚 登 卜部 哲也・小泉 吉則・中野 美光・瓜生 東一・川島 豊春・毛見 寿秀				
		成田平成	赤海 守・林 康博・平山 幹夫・池田 忠彦・井上 幸男・岩館 柳一 岩澤 治衛・加瀬 邦康・片岡 岩次郎・谷 洋・勝田 清治・木村 久美 小林 英文・小林 攻・国井 信幸・松岡 一雄・野口 和男・大木 光男 曾根田 政義・鈴木 尚・須賀澤 民治・十九浦 敏行・仲村 昭夫・山田 博道 山口 巖・横田 浩昌・吉田 栄喜・村木 宣夫・林 一智・松下 尚夫 長原 正夫・安斎 達男・藤ヶ崎 庄一・大木 和・奥田 利安・細美 忠彰 境 克己・白倉 作左衛門・原 伸男・那須 雅美・井上 義勝・尾形 英司 桜井 正夫・鈴木 新治・藤倉 孝衛・大嶋 幹緒・五十嵐 正春・服部 栄三 檜貝 孝二郎・山崎 昭司				
		富里	小原田 清・三橋 昭彦・三橋 信夫・星 健治・諏訪 憲治				
	2	佐倉	吉川 佳彦・塚田 雅二・吉原 只一郎・鈴木 利広・藤嵯 英治				
		四街道	楠岡 巖・高宮 武志・坪井 寅吉・林 和意・中沢 寛儀・金杉 理 田中 誠治・及川 慎一・戸田 芳徳・中台 祐三・山崎 恵英・篠崎 幹 井上 務・中澤 寛義・小島 正一郎・井岡 四郎・原 正史・江口 義明 後藤 信二・山崎 勇				
		八街	細田 晴夫・長谷川 健一・秋葉 藤一				
		八街グリーン	井野 文樹・浅井 誠				

ライオンズクラブ国際協会

333-C 地区ライオンズクラブ

1. ライオンズクラブ国際協会関係

(1994年1月末現在)

	1993年1月末	1994年1月末	増 減
参加国数	177	181	+ 4
クラブ数	41,349	41,847	+498
会員数	1,402,747	1,402,423	-324

2. 330~337複合地区・333-C地区

	333~337複合地区(1994年3月1日現在)	333-C地区(1994年3月1日)
クラブ数	3,103	102
会員数	169,805	4,654

3. 333-C地区

{ 1994年7月1日実施予定
ただしLC数・会員数は1994年3月末現在 }

リジョン番号	ゾーン番号	クラブ数(会員数)	クラブ名
1	1	4 (160)	市川・市川東○・下総中山・市川北
	2	4 (173)	浦安・行徳・浦安シーサイド・浦安中央
2	1	4 (222)	松戸・松戸中央・松戸ユーカリ・松戸南
	2	4 (195)	流山◎・松戸東・野田・関宿
3	1	4 (181)	柏◎・我孫子・印西・柏さくら
	2	4 (253)	柏中央・柏グリーン○・柏オーク・柏なの花
4	1	5 (265)	船橋・船橋中央◎・鎌ヶ谷・沼南・船橋ポート
	2	4 (149)	船橋東・船橋京葉・船橋北・白井
	3	4 (182)	習志野・八千代・習志野中央・八千代東
5	1	6 (288)	千葉・千葉中央・千葉若潮・千葉ポート・千葉幕張メッセ・千葉グリーン
	2	4 (209)	市原・千葉エコー・市原南◎・千葉京葉◎
6	1	6 (273)	成田・酒々井・成田グリーン・成田平成・富里・下総
	2	4 (165)	佐倉・四街道・八街・八街グリーン
7	1	5 (302)	銚子・佐原◎・東庄・神崎・銚子中央○
	2	6 (217)	八日市場・総武中央◎・多古・大栄・栗源・光
	3	4 (220)	旭・飯岡・千潟・山田町
8	1	4 (144)	木更津・木更津中央・袖ヶ浦◎・木更津金鈴◎
	2	4 (175)	富津◎◎・上総・君津◎◎・君津中央◎
9	1	5 (228)	館山◎・鋸南・館山中央・館山北・館山南
	2	5 (205)	鴨川◎・房州白浜・房州朝夷・房総勝浦・夷隅
10	1	8 (269)	茂原・上総一宮・茂原長生・白子・長南・長柄・茂原中央・茂原たちばな
	2	4 (156)	東金・大網白里・九十九里・成東
計	22	102 (4,631)	(レオクラブ5・ライオネスクラブ14)

※ ○……レオクラブ ◎……ライオネスクラブ

アクティビティ集計表

1993.7.1~1994.4.30

R	Z	クラブ名	4月末 会員数	金 銭 A C T			労 力 A C T			献 血		
				件数	金 額	1人当 り金額	件数	人×時	1人当 り時間	回数	量cc	
1	1	市 川	52	26	3,270,146	62,887	3	374	7.2	2	51,200	
		市 川 東 □	35	19	3,777,831	107,938	3	195	5.6	1	16,800	
		下 総 中 山	44	36	5,526,759	125,608	9	870	19.8	4	80,000	
		浦 安	55	23	7,366,966	133,945	4	1,953	35.5	1	40,400	
		行 徳	36	32	7,164,907	199,025	14	1,576	43.8	2	160,200	
		市 川 北	28	14	1,708,376	61,013	3	1,312	46.9			
		浦安シーサイド	39	15	1,663,251	42,647	11	1,024	26.3	7	102,800	
		浦 安 中 央	44	8	2,152,000	48,909	3	366	8.3			
	2	松 戸	69	12	2,052,041	29,740	5	560	8.1	1	26,400	
		流 山 ○	49	33	5,358,600	109,359	23	1,491	30.4	2	27,800	
		松 戸 中 央	57	29	5,852,122	102,669	48	2,909	51.0	1	43,000	
		松 戸 東	57	34	6,769,498	118,763	29	3,505	61.5	2	84,800	
		野 田	64	21	6,962,445	108,788	15	1,768	27.6	1	28,400	
		松戸ユーカリ	49	41	3,306,253	67,475	26	2,488	50.8			
		関 宿	22	6	1,070,400	48,655	6	454	20.6			
		松 戸 南	47	24	3,442,067	73,235	17	1,652	35.1	1	17,600	
	3	柏	74	41	5,746,365	77,654	35	2,314	31.3	3	68,200	
		我 孫 子	18	22	1,298,443	72,136	9	1,032	57.3			
		柏 中 央	82	49	10,668,036	130,098	46	4,101	50.0	3	68,600	
		柏 グ リ ー ン	67	45	6,397,690	95,488	65	2,498	37.3	4	110,200	
		印 西	32	21	1,659,072	51,846	15	581	18.2			
		柏 オ ー ク	61	40	14,119,297	231,464	55	2,229	36.5	3	73,000	
		柏 さ く ら	57	25	3,483,140	61,108	26	1,293	22.7	3	73,800	
		柏 な の 花	44	17	4,207,945	95,635	29	1,213	27.6	2	37,400	
	R	小 計	1,182	633	115,023,650	97,313	499	37,758	31.9	43	1,110,600	
	2	1	船 橋	43	28	4,362,578	101,455	21	1,090	25.3	1	9,800
			船 橋 中 央 ○	105	41	11,996,950	114,257	42	3,825	36.4	3	88,200
			鎌 ケ 谷	42	30	3,650,877	86,926	12	913	21.7	4	61,200
沼 南			21	26	1,563,132	74,435	7	1,160	55.2	1	48,200	
船 橋 ポ ー ト			55	58	8,324,464	151,354	54	5,036	91.6	3	46,400	
2		習 志 野	48	41	4,037,116	84,107	53	1,336	27.8	2	44,800	
		八 千 代	57	29	2,854,420	50,078	24	1,019	17.9	2	70,200	
		船 橋 東	57	36	5,543,700	97,258	24	1,755	30.8	8	149,600	
		船 橋 京 葉	18	37	2,492,630	138,479	23	805	44.7	19	301,200	
		船 橋 北	38	36	3,078,100	81,003	11	264	6.9	2	32,950	
		習 志 野 中 央	43	45	5,863,267	136,355	34	1,873	43.6	5	101,000	
		八 千 代 東	33	23	3,357,474	101,742	17	1,111	33.7	1	47,000	
		白 井	32	24	2,434,030	76,063	4	2,283	71.3	1	2,000	
		R	小 計	592	454	59,558,738	100,606	326	22,470	38.0	52	1,002,550

1993.7.1~1994.4.30

1993.7.1~1994.4.30				金 銭 A C T			労 力 A C T			献 血	
R	Z	クラブ名	4月末 会員数	件数	金 額	1人当 り金額	件数	人×時	1人当 り時間	回数	量cc
3	1	千 葉	80	39	12,277,405	153,468	9	358	4.5		
		千 葉 中 央	53	39	8,771,765	165,505	4	472	8.9		
		千 葉 若 潮	38	18	2,577,353	67,825	9	906	23.8	4	158,800
		千 葉 ポ ー ト	34	16	4,826,518	141,956	7	1,299	38.2	2	21,800
		千葉幕張メッセ	48	19	2,528,505	52,677	4	277	5.8	1	62,000
		千葉グリーン	33	12	1,549,544	46,956	3	66	2.0	1	32,000
	2	市 原	50	27	4,100,095	82,002	23	1,151	23.0	2	75,200
		千葉エコー	51	30	3,338,931	65,469	10	409	8.0	2	95,600
		市原南○	52	13	827,880	15,921	19	872	16.8		
		千葉京葉○	55	29	7,535,505	137,009	6	229	4.2	1	35,400
R	小 計		494	242	48,333,501	97,841	94	6,039	12.2	13	480,800
4	1	銚 子	61	16	5,473,070	89,722	6	1,082	17.7	1	22,400
		佐 原 ○	103	56	7,162,680	69,541	41	2,909	28.2	7	378,200
		東 庄	33	34	4,939,174	149,672	23	752	22.8	3	73,400
		神 崎	43	27	1,504,511	34,989	14	256	6.0	2	18,000
		銚子中央□	59	24	2,379,680	40,334	11	699	11.8		
	2	八 日 市 場	32	6	2,900,708	90,647	6	1,077	33.7	1	21,600
		総武中央○	49	30	5,284,365	107,844	9	1,134	23.1	2	38,600
		多 古	42	36	4,519,060	107,597	19	1,363	32.5	4	129,400
		大 栄	47	22	1,658,280	35,283	11	384	8.2	9	190,200
		栗 源	24	15	811,128	33,797	8	311	13.0	1	11,600
		光	25	12	890,710	35,628	4	139	5.6	2	60,000
	3	旭	82	29	3,531,929	43,072	20	1,089	13.3	2	67,400
		飯 岡	48	27	2,240,340	46,674	24	939	19.6	4	47,800
		千 潟	42	19	1,664,589	39,633	11	824	19.6	2	73,000
山 田 町		47	30	2,756,235	58,643	17	909	19.3	3	56,000	
R	小 計		737	383	47,716,459	64,744	224	13,867	18.8	43	1,187,600
5	1	木 更 津	28	14	1,542,718	55,097	12	841	30.0	1	4,000
		木更津中央	31	29	4,202,201	135,555	13	568	18.3	1	4,000
		袖ヶ浦○	42	20	2,127,195	50,648	18	804	19.1	4	95,600
		木更津金鈴○	44	33	3,999,013	90,887	20	2,273	51.7	2	42,600
	2	富津○□	45	34	3,194,684	70,993	28	2,666	59.2	13	293,472
		上 総	36	14	2,480,159	68,893	17	2,254	62.6	2	24,800
		君津□○	62	52	5,793,509	93,444	62	2,308	37.2	1	86,400
	君津中央○	32	18	1,286,638	40,207	14	767	24.0	2	32,800	
R	小 計		320	214	24,626,117	76,957	184	12,481	39.0	26	583,672

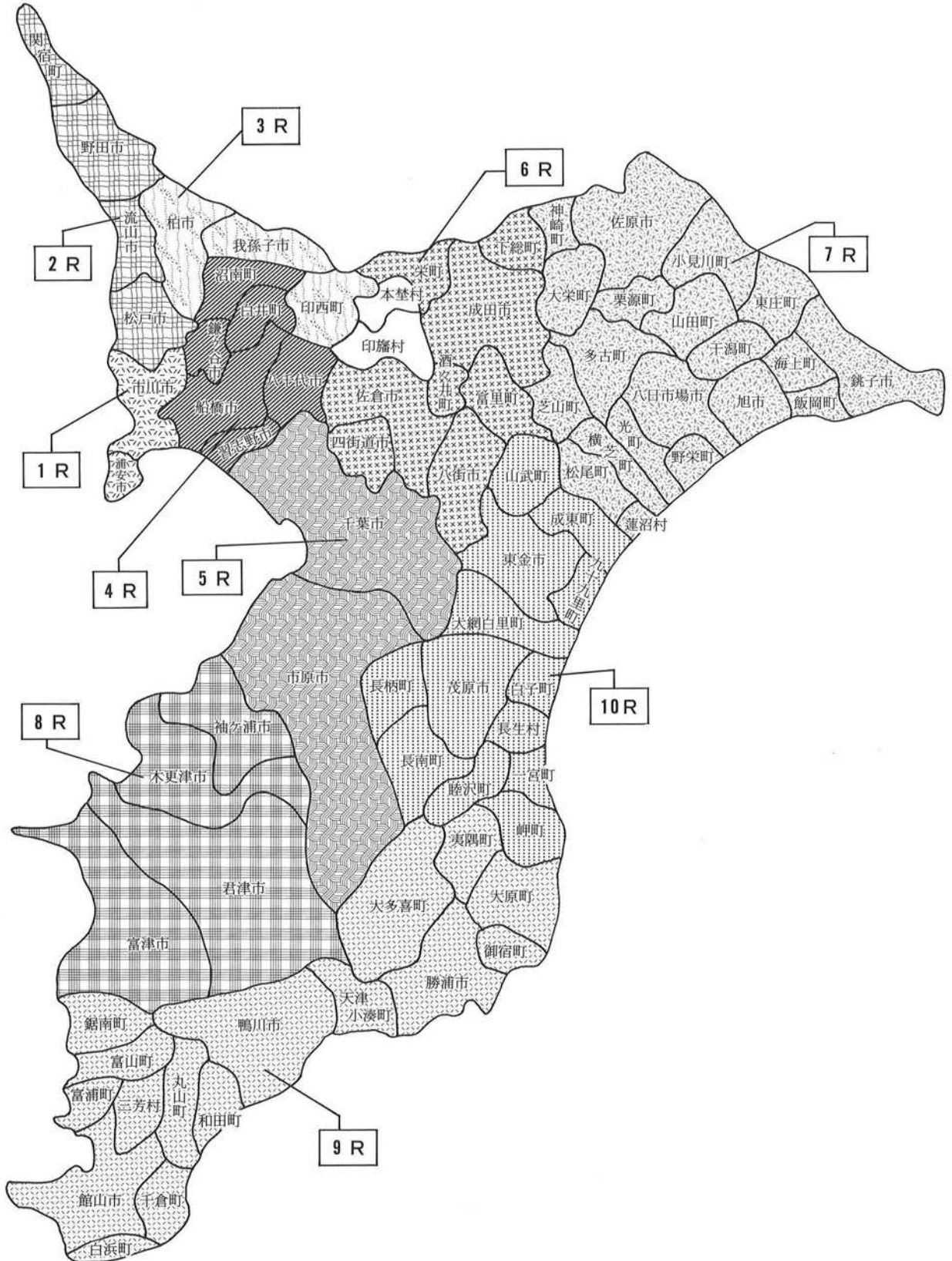
1993.7.1~1994.4.30

R	Z	クラブ名	4月末 会員数	金 銭 A C T			労 力 A C T			献 血			
				件数	金 額	1人当 り金額	件数	人×時	1人当 り時間	回数	量cc		
6	1	館 山 ○	51	32	2,324,921	45,587	10	639	12.5	2	36,800		
		鋸 南	40	21	763,590	19,090	7	302	7.6	5	5,400		
		館 山 中 央	68	27	4,851,420	71,344	9	1,904	28.0	2	31,000		
		館 山 北	27	25	771,909	28,589	6	314	11.6	2	7,600		
		館 山 南	41	22	1,523,862	37,167	4	467	11.4	2	35,400		
	2	鳴 川 ○	58	28	3,322,165	57,279	5	190	3.3	3	1,200		
		房 州 白 浜	28	21	529,700	18,918	16	401	14.3	3	50,600		
		房 州 朝 夷	15	15	957,214	63,814	14	1,180	78.7	9	155,800		
		房 総 勝 浦	79	15	2,198,590	27,830	4	402	5.1				
		夷 隅	24	2	200,000	8,333	2	84	4.0	3	600		
R	小 計		431	208	17,443,371	40,472	77	5,883	13.6	31	324,400		
		茂 原	57	26	5,330,492	93,517	7	685	12.0	4	57,000		
		上 総 一 宮	35	17	1,853,700	52,963	16	831	23.7	6	111,800		
		茂 原 長 生	39	22	1,692,328	43,393	6	506	13.0	4	56,900		
		白 子	24	18	1,467,100	61,129	18	1,072	44.7				
		長 南	39	19	746,825	19,149	10	303	7.8	4	71,400		
		長 柄	19	8	340,408	17,916	2	92	4.8				
		茂 原 中 央	30	13	2,101,985	70,066	6	1,005	33.5				
		茂原たちばな	26	3	250,000	9,615			0				
	2	東 金	43	19	1,802,980	41,930	11	681	15.8	2	92,400		
		大 網 白 里	42	22	1,555,880	37,045	11	1,257	29.9	2	52,200		
		九 十 九 里	39	9	3,967,594	101,733	12	758	19.4				
		成 東	32	18	1,445,519	45,172	15	373	32.0				
		R	小 計		425	194	22,554,811	53,070	114	7,563	17.8	22	441,700
		8	1	成 田	74	21	5,357,064	72,393	10	497	6.7	1	47,800
酒 々 井	25			10	994,290	39,772	2	147	5.9				
成田グリーン	51			18	5,903,434	115,754	5	617	12.1	1	83,200		
成 田 平 成	54			26	5,472,828	101,349	19	988	18.3	1	52,000		
富 里	36			13	1,724,450	47,901	4	334	9.3	1	32,600		
下 総	35			9	659,500	18,843	3	145	4.1				
2	佐 倉		41	15	2,133,108	52,027	11	1,175	28.7	4	76,200		
	四 街 道		61	45	6,216,011	101,902	25	2,916	47.8	2	74,400		
	八 街		31	18	1,313,670	42,376	4	277	8.9	1	1,000		
	八街グリーン		30	13	2,511,170	83,706	6	885	29.5	2	18,400		
R	小 計		438	188	32,285,525	73,711	89	7,981	18.2	13	385,600		
地 区 合 計		4,619	2516	367,542,172	79,572	1607	114,042	24.7	243	5,516,922			

○ ライオンズクラブ □ レオクラブ

333-C 地区リジョン分布図

(1994年7月以降)



編 集 後 記



地区PR・情報委員長
L 篠原一彦
(浦安LC)

今年度、地区PR情報委員長として、地区ニュースを担当いたしました。丸一年の任期も終わろうとしております。その任務は大変幅が広く、人間関係の奥行きを深さを勉強させて戴きました。その間、地区ガバナーの方針の伝達から始まり、各クラブの内外の出来事、その他多くの地域社会に密着した奉仕活動の実績とうを、地区ニュース「ふれあい」に連載いたしました。千葉県民の皆様方に読んで戴き、又見て戴きました事は特に編集委員並びに、1R～8RのPR情報委員、各クラブの皆様方のお蔭と、深く感謝致す次第でございます。又千葉銀行地域開発部長富塚国興先生には、国内外の経済情勢並びに21世紀に向かって、千葉県内の今後の開発状態を大いにお話しをして戴き、各企業も団体も、活性化を目標に懸命な努力をして行かなければならないと思っております。今後は地区PR情報の重要性を良く考え合わせて、Z単位に合同ACTを計画並びに実行いたし、LCとして幅広い奉仕活動をして行きたいと思っております。最後になりましたが、今月号は今期最終号として、333-C地区最大の行事であります第40回年次大会と、複合地区大会の記事を中心といたしまして、発行する事が出来ました。終りに今年一年間、地区ニュース「ふれあい」発行にあたり各LCの皆様方に、ご指導ご助言等賜り衷心より厚くお礼申し上げます。



地区PR・情報副委員長
L 大須賀 稔
(浦安シーサイドLC)

構成とか編集、冊子作りに丸っきりの素人がPR情報委員長より、副委員長を受けてくれないかと請われて、首を傾げながら初めての経験に取りくむ事に成りました。

前期の尾形委員長及び副委員長、編集委員の方々に懇切に御指導を有難く頂戴しました。御苦労話、ご意見を拝聴しながら、心中大変なものを受けてしまったと、ジワジワと後悔観念の沸き上がったのも偽り無き心境で

した。

幸いにして、委員長L篠原氏が、前1R・PR委員でしたので機構を周知していた事、編集委員に若く有能な、L相川・L大久保両氏を配して戴いた事、加えて元PR委員を経験された田辺地区企画委員長にもCAB業務の合間に飛び入り参画、皆さんの有能なる頭脳を遺憾なく発揮して戴いた事により、なんとか第1号を発行する事が出来ました。

それでも最初の取り組みは模索と懷疑とで終始し、副委員長とはいえ、発送後も心臓が揺れるような状態であった事が思い出されます。

毎年、各年新しく、CAB交替により地区ニュースを担当され、それぞれ立派な業績を果たされた先人の方々のご苦勞に対して、担当者となる前年迄は、何となく地区ニュースに目を通して居ただけの自分で在った事に、今更ながら申し訳無かったと痛感します。第5号・第6号には川崎地区幹事までが原稿持参で、駆け参加も有りました。

皆さんのお陰で、地区LCメンバーの読後評価は「？」ですが、曲がりなりにも「無事」に最終の第6号をお届け出来ました事で、どうにか任務を終了する運びとなりました。

私共としましては一所懸命に頑張った結果でしたが、失敗箇所も数々、御期待に添えなかった事等も多々有りましたることを、この誌面を借りまして深くお詫び申し上げます。

末筆と成りましたが、各リジョンPR委員及び各LCPR委員の皆様には寄稿・収集に絶大の御苦労、御協力を戴きましたる事、校正・印刷・発送にライオンズ精神で終始尽力されたL永藤と社員の皆様、以上の方々に改めて深甚なる感謝と御礼を申し上げます。

尚、次期のPR担当各位も日々の多忙なる「ビジネス」の間を縫って編集・構成に取り組む事と思われまますので、何卒今年以上に深い御理解と、暖かい慈しみを戴く事に依って、地区ニュースが益々充実・発展向上出来ますように皆様の御声援を御願ひする次第です。



コーヒーショップ
カシュカシュ



1階 104席(個室14席)

明るいテラスエリアでバラエティ豊かなメニューと味覚を、どうぞ。

営業時間 朝6:30~11:30 昼11:30~17:30 夜17:30~23:00



京懐石 螢(ほたる)



1階 43席(座敷2室、18席)

数寄屋造りの落ち着いた雰囲気の中、四季折々の趣向を凝らした京懐石をご堪能ください。

営業時間 昼11:30~14:30 夜17:30~22:00



味処 季布や



2階 50席(個室8席)

板前との会話とともに、旬の一品料理と日本の名酒を味わってください。

営業時間 朝7:00~10:00 昼11:30~14:30 夜17:30~22:00



中国料理 花間(かかん)

CHINESE RESTAURANT



2階 85席(個室4室、36席)

親しみやすく飽きのこないようにアレンジした
広東料理の数々をお楽しみください。

営業時間 昼11:30~14:30 夜17:30~22:00



鉄板焼 燻(ひもろぎ)



22階 35席

美しい夜景をバックに、山海の幸をダイナミックに焼きあげます。

営業時間 昼11:30~14:30 夜17:30~22:00



ブライトンダイニングルーム
ぴあんディエ



22階 32席(個室8席)

ゲストのリクエストをもとに、シェフがお望みの料理をご提供するレストランです。

営業時間 夜17:30~22:00(昼は予約制)



ロビーラウンジ シルフ



1階 34席

光あふれるアトリウムの中、優雅なティータイムのひとときを。

営業時間 9:00~22:00



メインバー マートレット



22階 39席(個室7席)

ホテル最上階の夜景と銘酒で華麗なナイトタイムをお過ごしください。

営業時間 17:00~2:00



浦安ブライトンホテル

〒279 千葉県浦安市美浜1-9 Tel.0473-55-7777

私たちの街には、浦安ブライトンホテルがあります。